

2021年3月期 第2四半期決算 投資家向け説明会

2020年11月11日

ソフトバンクグループ株式会社



免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（以下SBGと併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものでもありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績の保証を意味するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド（下記で別途定義）並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」（https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor）をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依存してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測又は予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法（以下「証券取引所法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やZホールディングス株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券と同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供するものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Investment Advisers (UK) Limited（以下「SBIA」）及びその関係会社を含むSBGの子会社（以下「SBファンド運用会社」）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」）のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、SoftBank Vision Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」）とSoftBank Vision Fund II-2 L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」）を含み、それぞれSBIAとその関係会社によって運用されています。SBファンド（ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2を含む）、SBファンド運用会社（SBIAを含む）、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるとかかわらず表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつか要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

SBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、本資料に記載されるパフォーマンス情報と著しく異なる可能性があります。本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むものである、又は、将来行われる投資が本資料に説明される投資と質又はパフォーマンスの点で同等であると仮定すべきではありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBIAは、SBGから別個独立した業務プロセスを運用しており、ビジョン・ファンド1及びビジョンファンド2を含むSBIAによって運営されているSBファンドは、SBIA単独で運営されています。

本資料における為替換算レート

期中平均レート	FY19/Q1	FY19/Q2	FY19/Q3	FY19/Q4	FY20/Q1	FY20/Q2	FY20/Q3	FY20/Q4
1米ドル	110.00	107.70	108.98	109.22	107.74	105.88		
1人民元	16.13	15.37	15.46	15.56	15.16	15.27		
期末レート	2019/6月末	2019/9月末	2019/12月末	2020/3月末	2020/6月末	2020/9月末	2020/12月末	2021/3月末
1米ドル				108.83		105.80		
1人民元				15.31		15.54		

略称について

本資料では、以下の略称は以下の意味を指す。

略称	意味 (傘下子会社がある場合、それを含む)
SBG	ソフトバンクグループ(株) (単体)
当社	ソフトバンクグループ(株)および子会社
SBKK	ソフトバンク(株)
SB Northstar	SB Northstar LP
SBGC	SoftBank Group Capital Limited
SVF 1 or ソフトバンク・ビジョン・ファンド 1	SoftBank Vision Fund L.P. および代替の投資ビークル
SVF 2 or ソフトバンク・ビジョン・ファンド 2	SoftBank Vision Fund II-2 L.P.および代替の投資ビークル
SBIA	SB Investment Advisers (UK) Limited
スプリント	Sprint Corporation
Tモバイル	スプリントと合併後のT-Mobile US, Inc.
アーム	Arm Limited
アリババ or Alibaba	Alibaba Group Holding Limited
WeWork	The We Company

財務編

“SBG単体”の財務指標は、別段記載のない限り、連結グループから独立採算子会社を除いた数値を示します。独立採算子会社は、SBKK、アーム、SVF1、SVF2、ブライトスター、PayPay、フォートレス、SBIナジー等です

4.5兆円プログラムの資金化が完了。財務コミットメントを順守しつつ、アセットを多様化

<p>資産の資金化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 4.5兆円プログラムの資金化を完了 <ul style="list-style-type: none"> - 2020年9月に資金化が完了 - SBKK株式：国内最大規模の売出しにより、1.2兆円を資金化（当第2四半期）※2
<p>保有資産の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 保有株式価値は30.9兆円。アセットの多様化が進む <ul style="list-style-type: none"> - Alibaba：株価上昇により5.9兆円の価値向上（前四半期末対比） - 上場株式等への投資：アセット多様化と余資運用として1.9兆円の増加（前四半期末対比） - SVF1及びSVF2：投資先上場等により1.1兆円の投資利益（当第2四半期）
<p>株主還元および負債圧縮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、4.5兆円プログラムに基づく還元を実施 <ul style="list-style-type: none"> - 株主還元：+0.6兆円（2020年7月1日から10月31日迄） - 負債圧縮：+1.5兆円（当第2四半期）
<p>LTV</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 保有資産の価値向上により、引き続き大きな財務バッファを確保 <ul style="list-style-type: none"> - LTV：11.8% - 手元流動性：2.4兆円 ※3

※1 別途記載がある場合を除き、2020年9月30日現在

※2 2000年以降の本邦における既公開株式案件（民営化案件を除く）において、売出し金額が最大

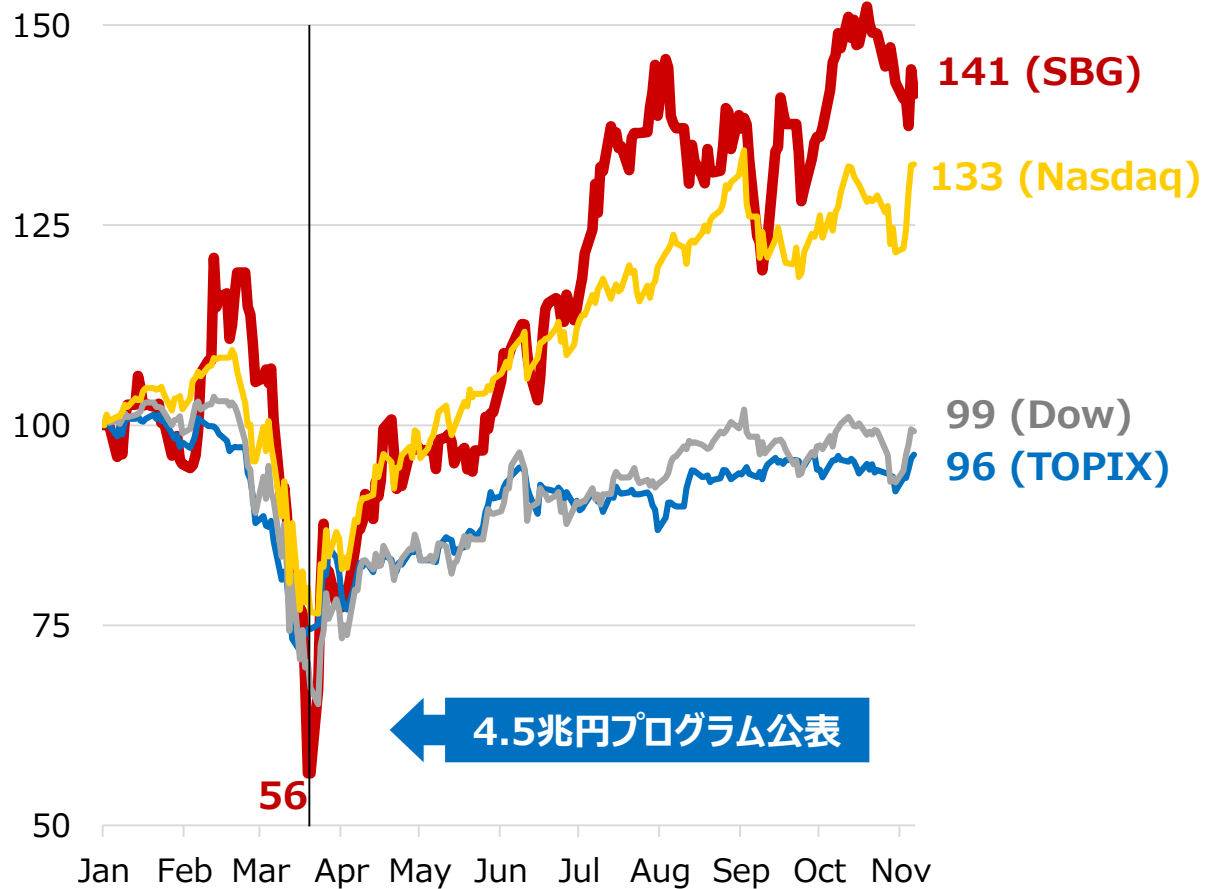
※3 現金及び現金同等物＋流動資産に含まれる短期投資＋コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース（SB Northstarを除く）

- **4.5兆円プログラムの進捗**
- 保有資産の状況
- 財務の状況
- 財務戦略
- ESGの推進

4.5兆円プログラムの順調な進捗を、エクイティ・デット市場ともに好感

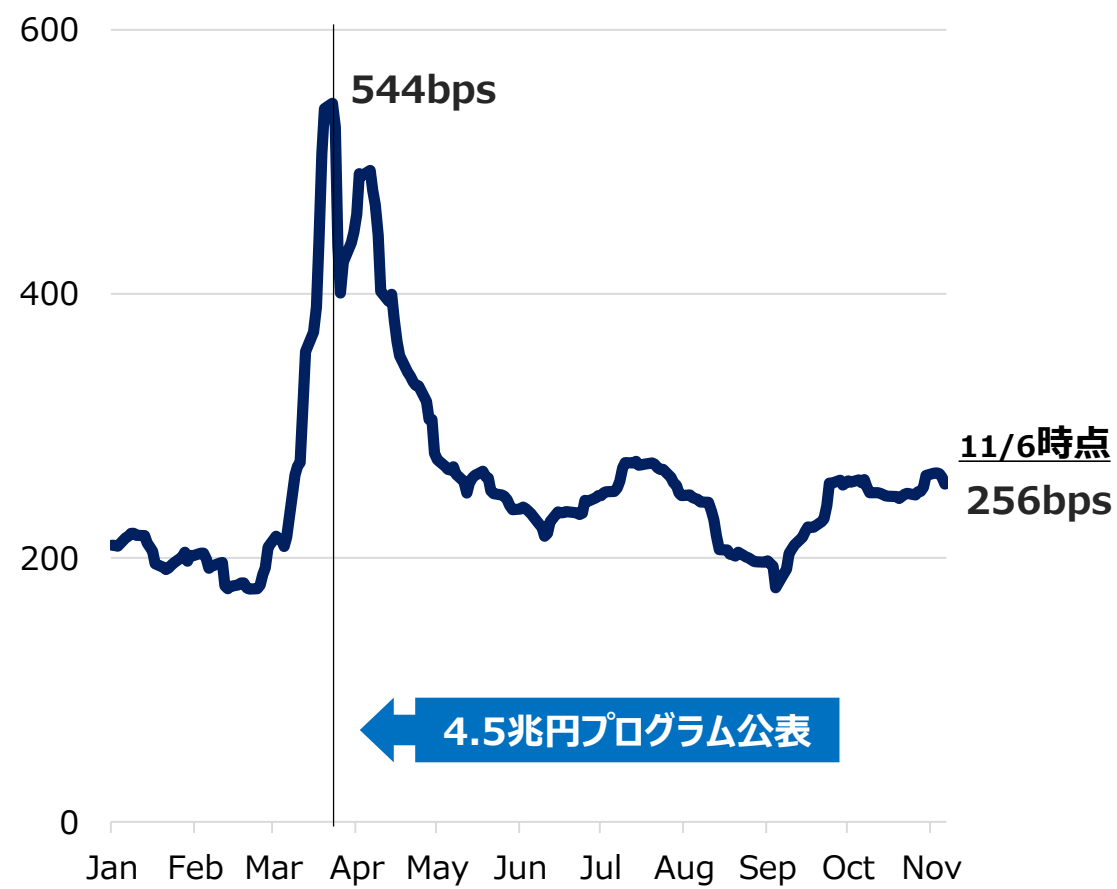
SBG 株価※1 (年初来)

11/6時点



SBG CDS※2 (年初来)

bps



※1 2020年1月1日を100として指数化。2020年11月6日時点

※2 5年円建てCDS。2020年11月6日時点

資産資金化により、株主および債権者へ大規模還元



4.5兆円の資金化は既に完了。わずか6か月で5.6兆円の資金化を実施

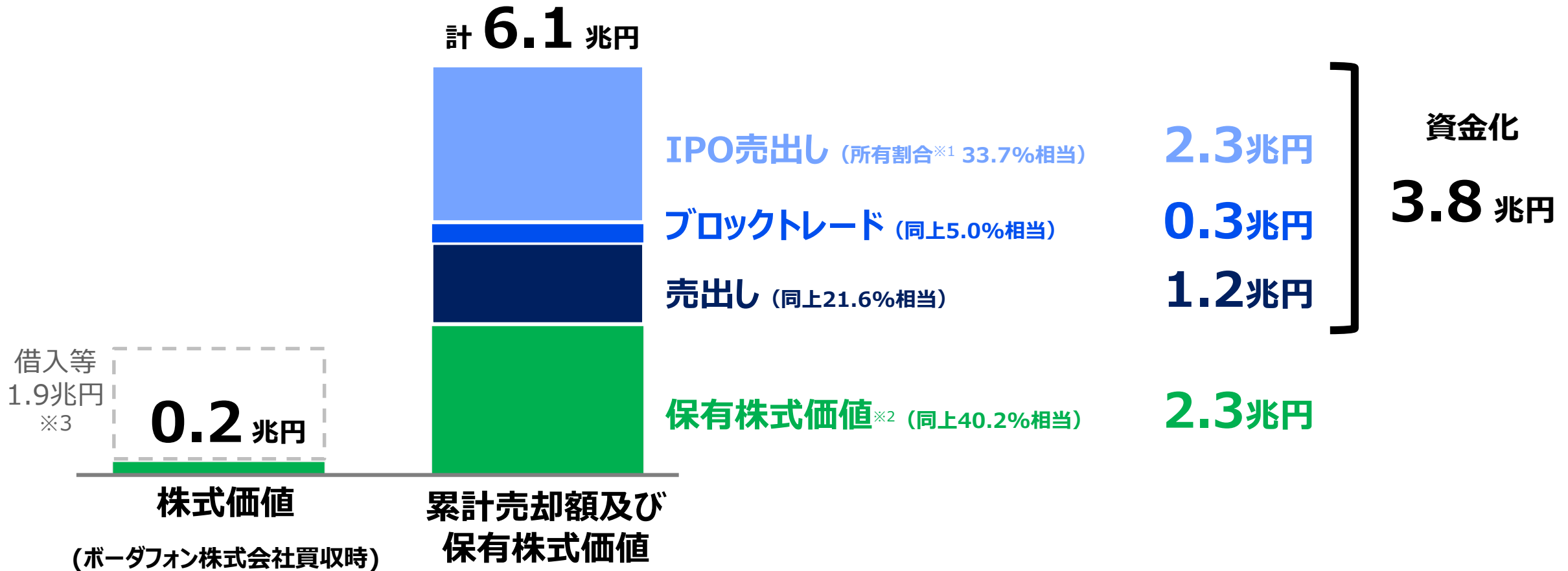
Alibaba	4-8月 先渡契約等	\$15.4bn	\$15.4bn	
SBKK	5月 9月	ブロックトレード 売出し	0.3兆円 ※1 1.2兆円 ※1	\$14.4bn
T-Mobile	6-7月 7月 8月	公募売上等 マージンローン ライツオフアリング	\$18.1bn \$2.3bn ※2 \$2.0bn	\$22.4bn

総額 \$52.2bn (5.6兆円※1)

※1 2020年6月末日までに完了した取引は1ドル=107.74円換算、同9月末日までに完了した取引は1ドル=105.80円換算

※2 Tモバイル株式を担保としたマージンローン(借入総額\$4.38bn)については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠(\$2.08bn)を控除した\$2.30bnをノンリコースのアセットファイナンスによる借入額としています。尚、SBGが当該保証を履行する前提条件として、金融機関はまず当該マージンローンの担保に供されているアリババ株式から最大限回収を図ることが義務付けられています。

2006年に移動通信事業を買収。2019年の上場以降3.8兆円を資金化
 今後は中長期的に継続保有する方針



※1 所有割合は、2020年9月末時点の発行済株式（自己株式を除く）総数4,758,598,370株に対する各々の売却株式数または継続保有株式数の割合

※2 保有株式価値は2020年9月30日時点。当社の保有株式数にSBKKの株価を乗じて算出。SBKK株式を活用したアセットファイナンスの決済に必要な金額を控除していない

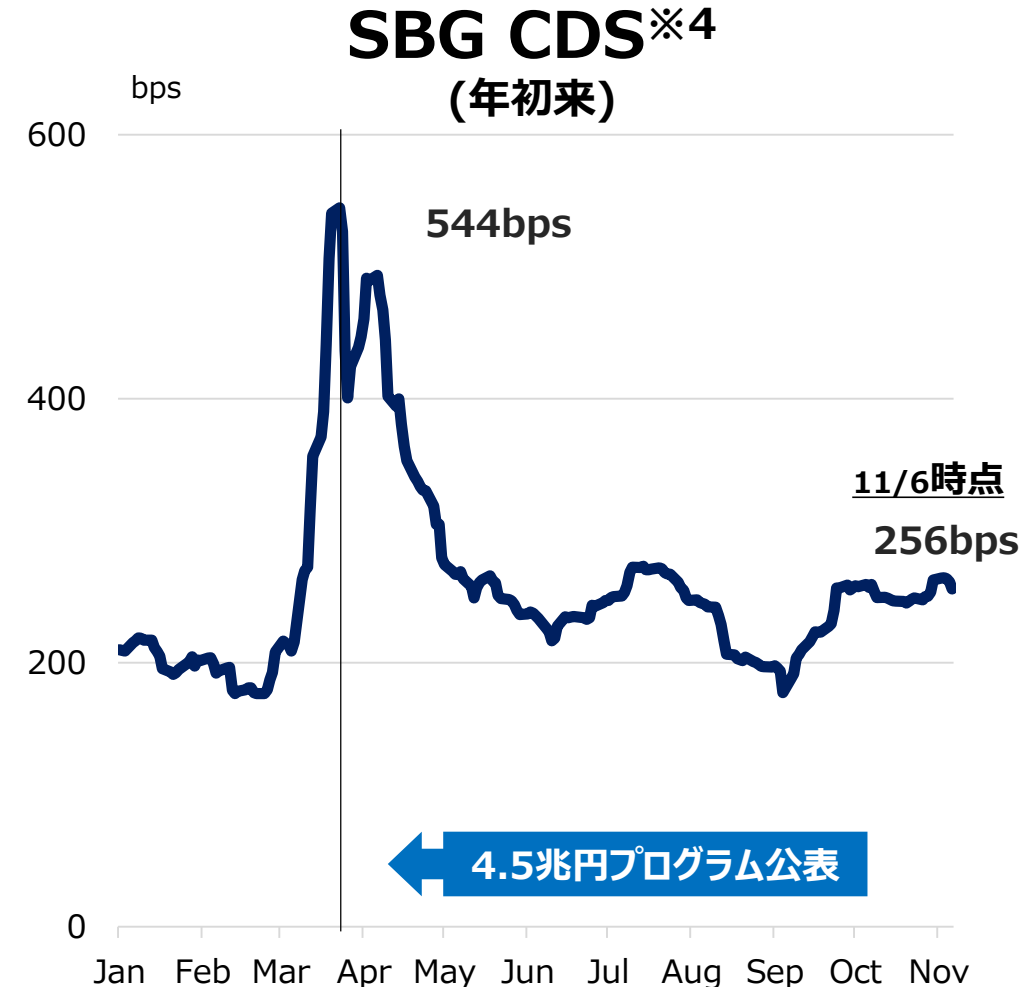
※3 借入等：SBMローン（リファイナンス後）1兆3,660億円、Vodafoneからの劣後ローン（SBMによる債務引受後）825億円、Vodafone PLC及びヤフーからの優先株式による調達4,177億円の合計

負債返済

1.5兆円規模の負債圧縮を実行

総額
1.5
兆円

国内社債の買入れ (7月) ※1	
買入総額	1,676億円 (額面総額)
Alibabaマージンローン (7月) ※2	
全額返済	\$9.4bn (1.0兆円※3)
シニアローン期限前返済 (9月)	
返済総額	3,000億円



※1 上記のほか、2020年6月に1,000億円の国内社債を満期償還。当該償還資金は国内社債によってリファイナンス済み

※2 SB Northstarは、2020年10月にアリババ株式を活用した60億ドルのマージンローンを実行

※3 1ドル=105.80円

※4 5年円建てCDS。2020年11月6日時点

一株当たり株主価値が向上し、当社株価は他銘柄をアウトパフォーム

自己株式取得

取得枠

(うち、4.5兆円プログラム)

2.5兆円

(2.0兆円)

取得総額 ※1

(うち、4.5兆円プログラム)

1.2兆円

(0.7兆円)

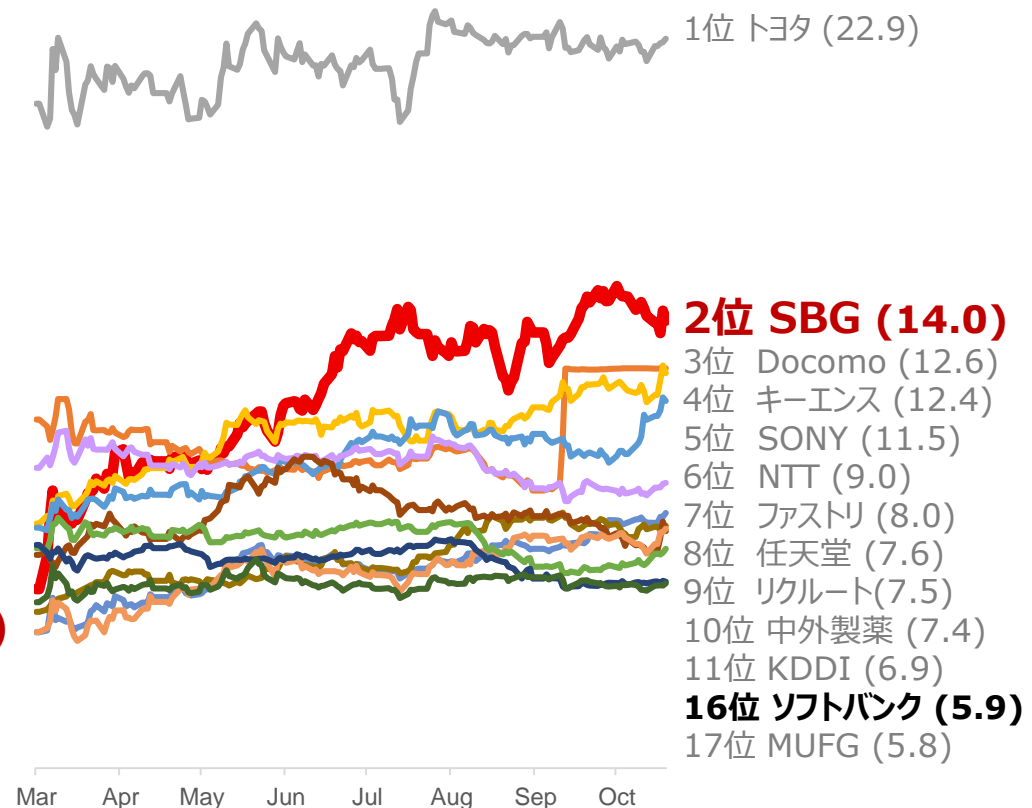
取得期間

～2021年7月30日迄

株価パフォーマンス

国内時価総額上位銘柄
(2020/3/19 ※2 ～11/6)

(時価総額、兆円)

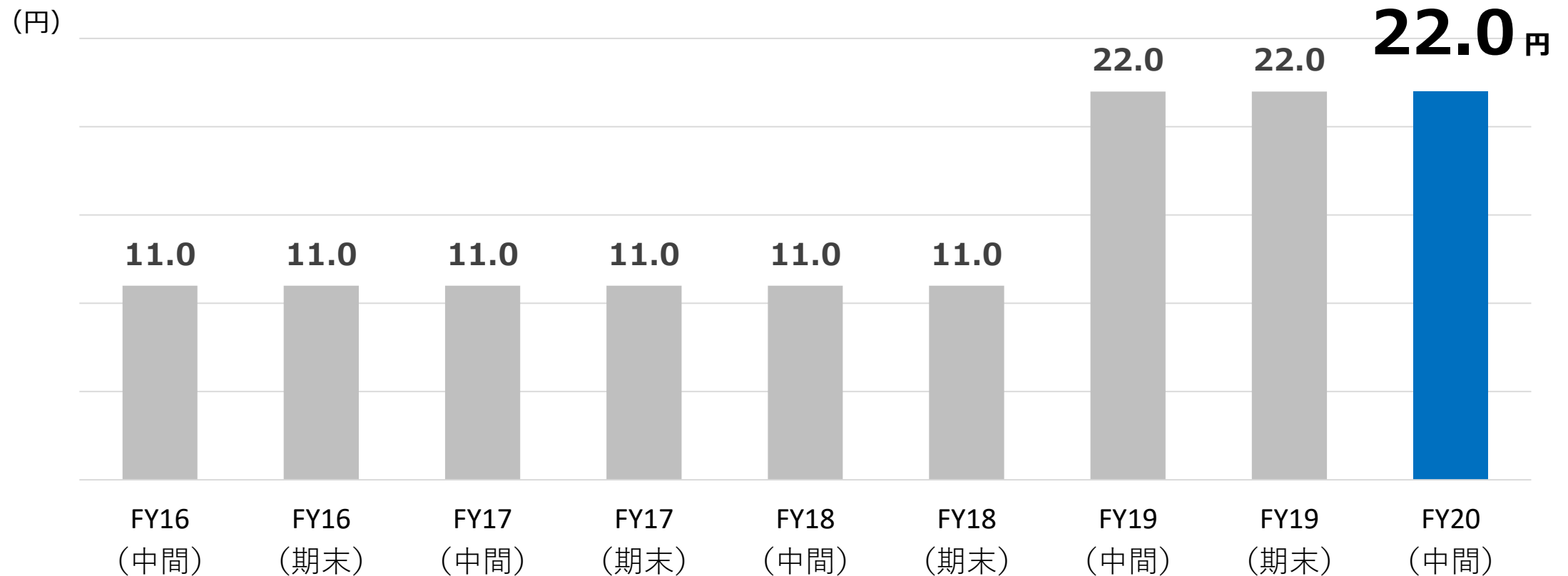


※1 2020年3月16日から同左10月31日までの実績

※2 2020年3月19日：日経平均株価が年初来安値を記録

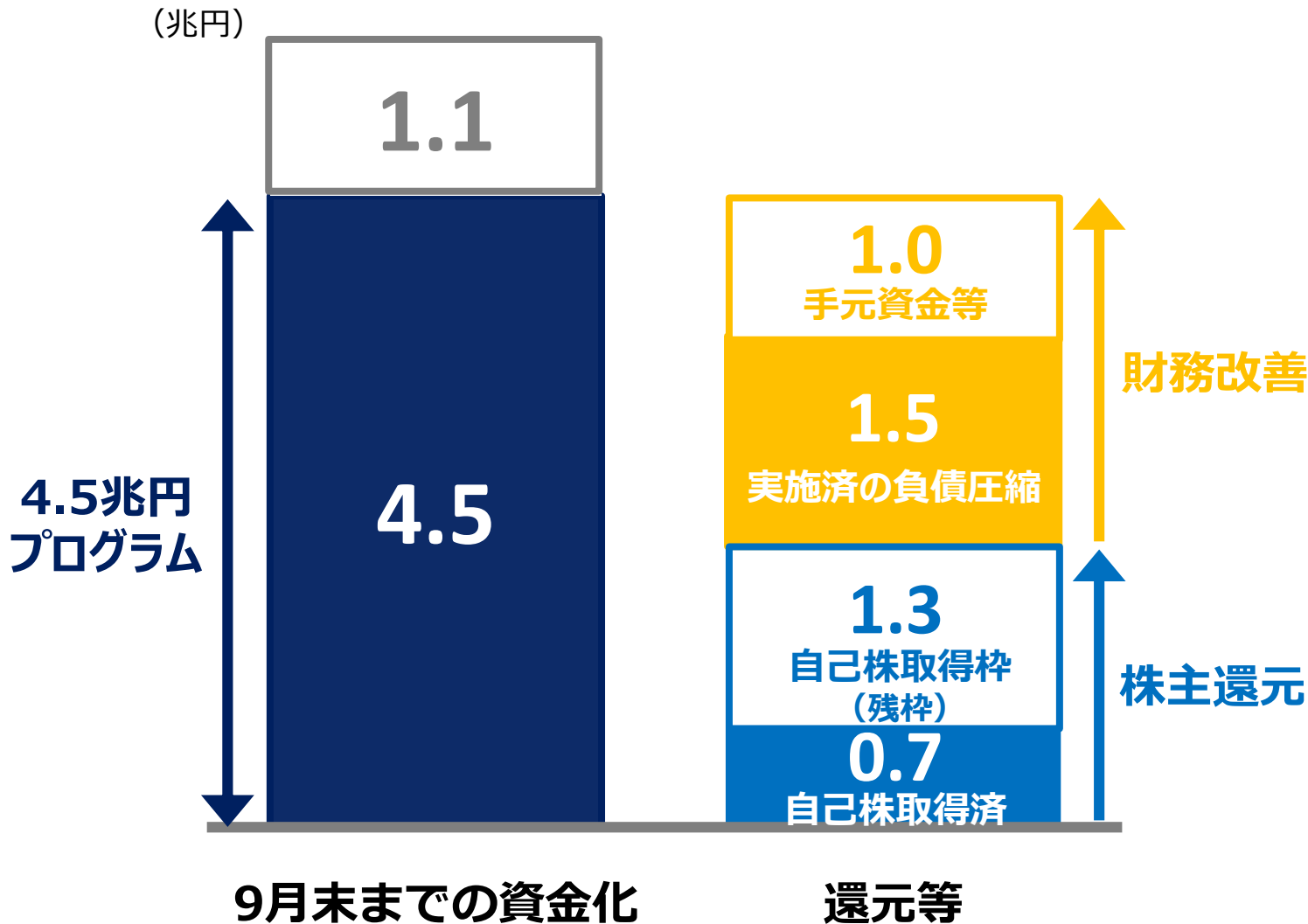
1株当たり22円の間配当を維持

1株当たり配当金の推移



※ 2019年6月28日付で実施した株式分割（1株を2株に分割）に伴う影響を加味して遡及修正

資金化は完了



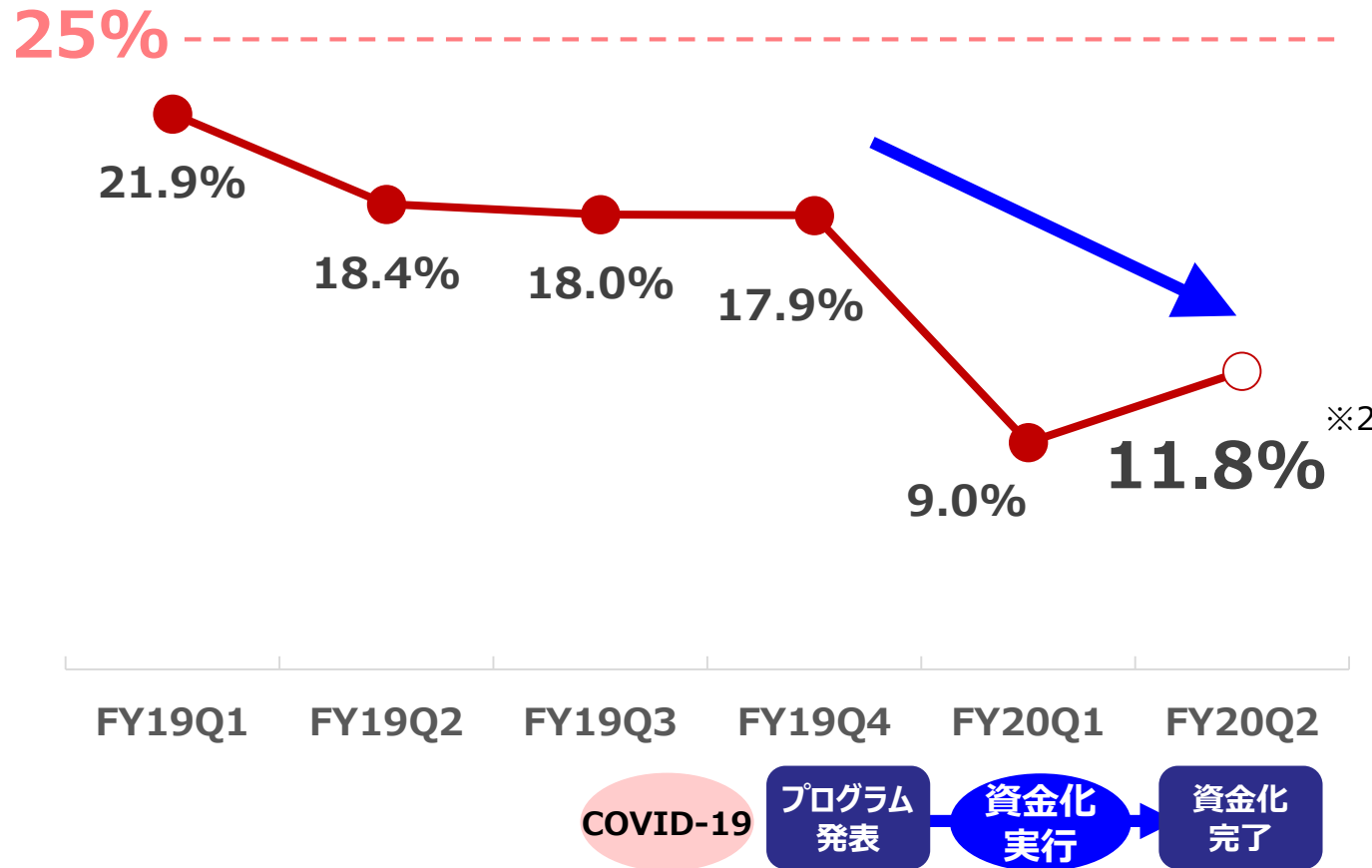
- 4.5兆円超の資金化を実施
- 超過した調達資金の用途は、財務バランスを勘案して検討

※ 資金化及び実施済の負債圧縮は2020年9月30日時点、実施済の株主還元は2020年10月31日時点

4.5兆円プログラムの進捗（LTV）

アセットファイナンス除く

LTVの推移 ※1



- 流動性の高い資産を活用した、迅速かつ大規模な資金化
- 市場環境に応じた機動的な財務運営を有言実行

※1 各四半期末時点の数値を記載

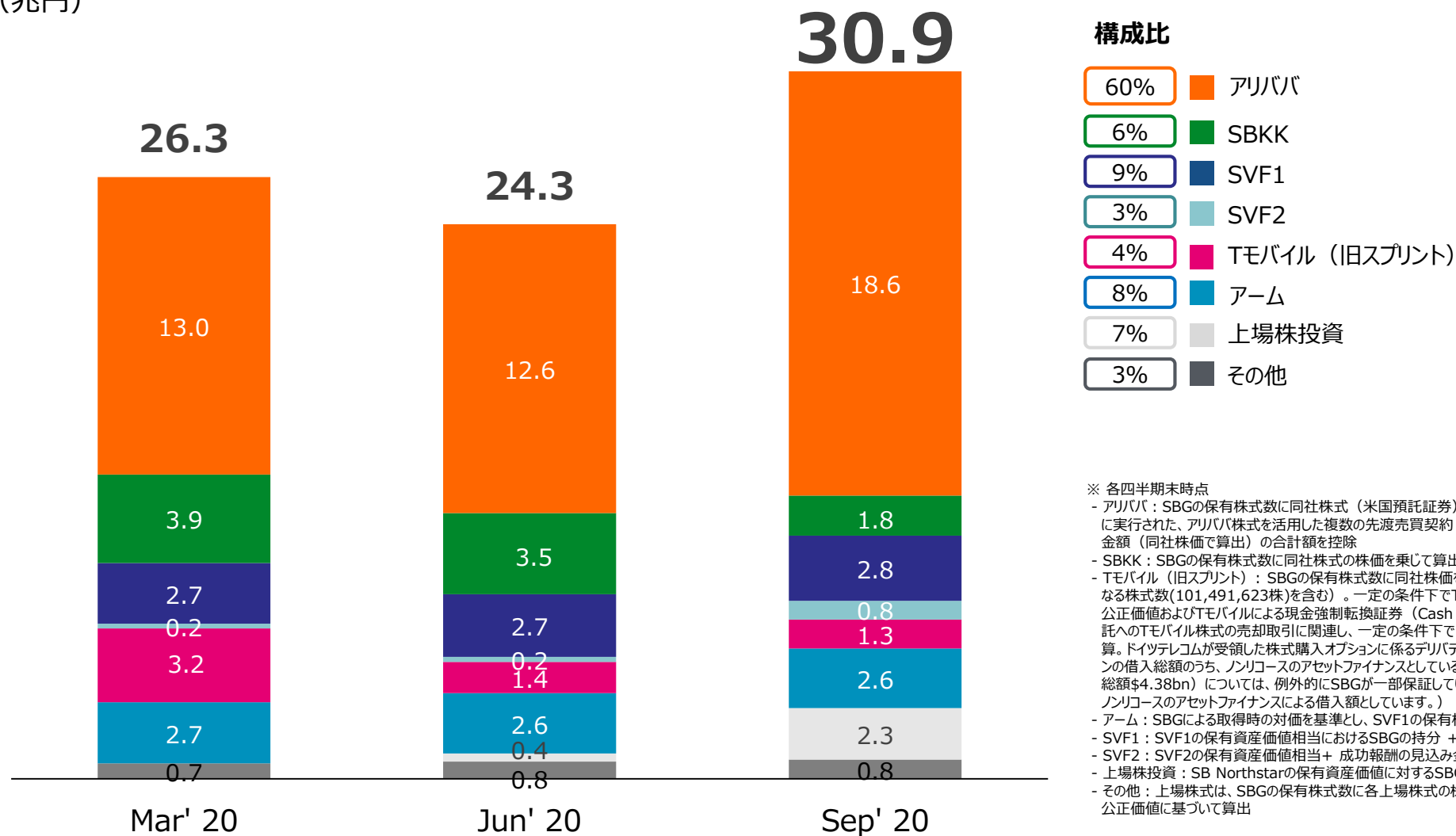
※2 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」および「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値」に記載

- 4.5兆円プログラムの進捗
- **保有資産の状況**
- 財務の状況
- 財務戦略
- ESGの推進

投資先の株価上昇等により保有株式価値は30.9兆円に拡大

アセットファイナンス除く

(兆円)



構成比

- 60% アリババ
- 6% SBKK
- 9% SVF1
- 3% SVF2
- 4% Tモバイル (旧スプリント)
- 8% アーム
- 7% 上場株投資
- 3% その他

※ 各四半期末時点

- アリババ：SBGの保有株式数に同社株式（米国預託証券）の株価を乗じ算出。2020年9月30日まで
に実行された、アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約（先渡契約・フロア契約・カー・契約・コールスプレッド）の満期決済
金額（同社株価で算出）の合計額を控除
- SBKK：SBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じて算出。SBKK株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額を控除
- Tモバイル（旧スプリント）：SBGの保有株式数に同社株価を乗じて算出（ドイツテレコムが受領した株式購入オプションの対象と
なる株式数(101,491,623株)を含む）。一定の条件下でTモバイル株式(48,751,557株)をSBGが無償で取得できる権利の
公正価値およびTモバイルによる現金強制転換証券（Cash Mandatory Exchangeable Trust Securities）を発行する信
託へのTモバイル株式の売却取引に関連し、一定の条件下でSBGの子会社がTモバイル株式を取得できる権利の公正価値を加
算。ドイツテレコムが受領した株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額およびTモバイル株式を担保としたマージン・ロー
ンの借入総額のうち、ノンリコースのアセットファイナンスとしている金額を控除。（Tモバイル株式を担保としたマージン・ローン（借入
総額\$4.38bn）については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠（\$2.08bn）を控除した金額を
ノンリコースのアセットファイナンスによる借入額としています。）
- アーム：SBGによる取得時の対価を基準とし、SVF1の保有株式数を除いて算出
- SVF1：SVF1の保有資産価値相当におけるSBGの持分 + 成功報酬の見込金額等
- SVF2：SVF2の保有資産価値相当 + 成功報酬の見込み金額
- 上場株投資：SB Northstarの保有資産価値に対するSBGの持分等
- その他：上場株式は、SBGの保有株式数に各上場株式の株価を乗じて算出。非上場株式はSBGが保有する未上場株式等の
公正価値に基づいて算出

Alibabaは引き続き堅調。SBKKは9月の売却価格を上回って推移



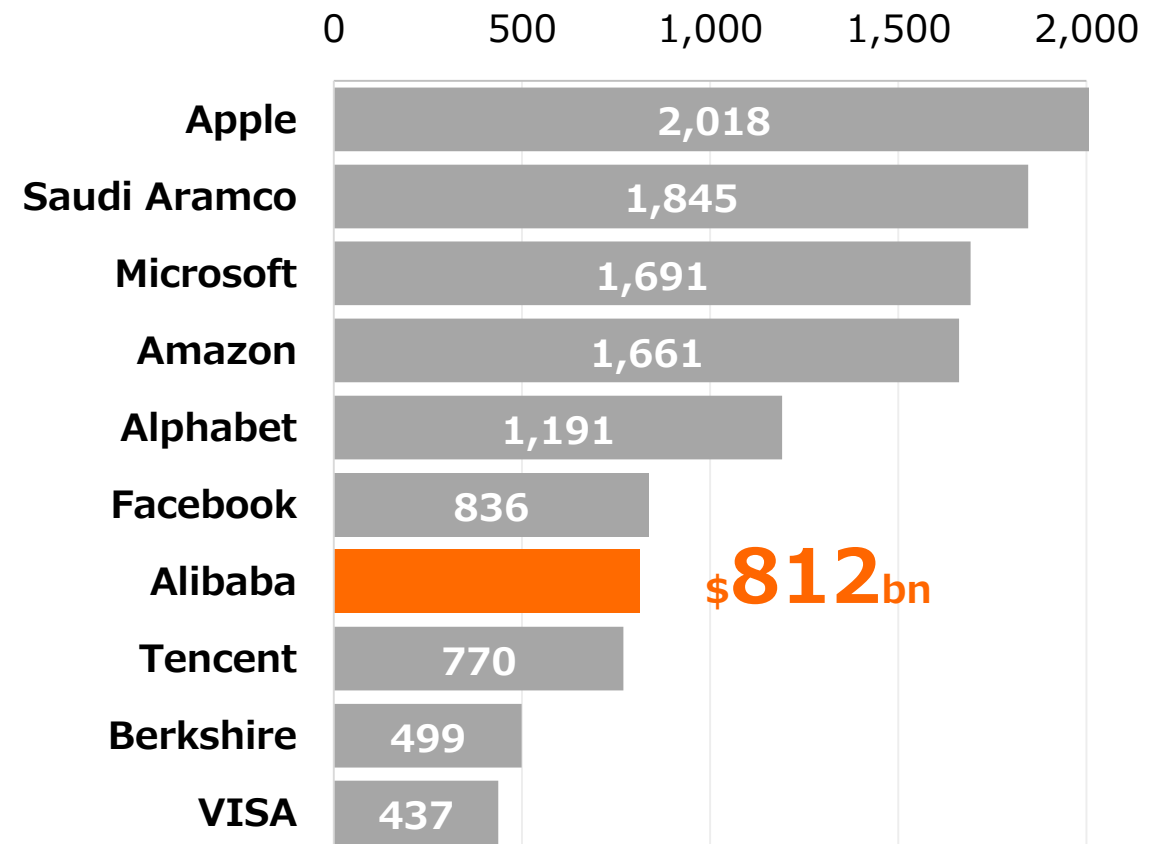
※ 2020年11月9日終値ベース。2019年12月末の終値を100として指数化

テクノロジー企業の代表格として、Alibaba株価は持続的に上昇

Alibaba株価推移（上場来）



グローバル時価総額ランキング上位10社 ※2 (11/6時点、\$bn)



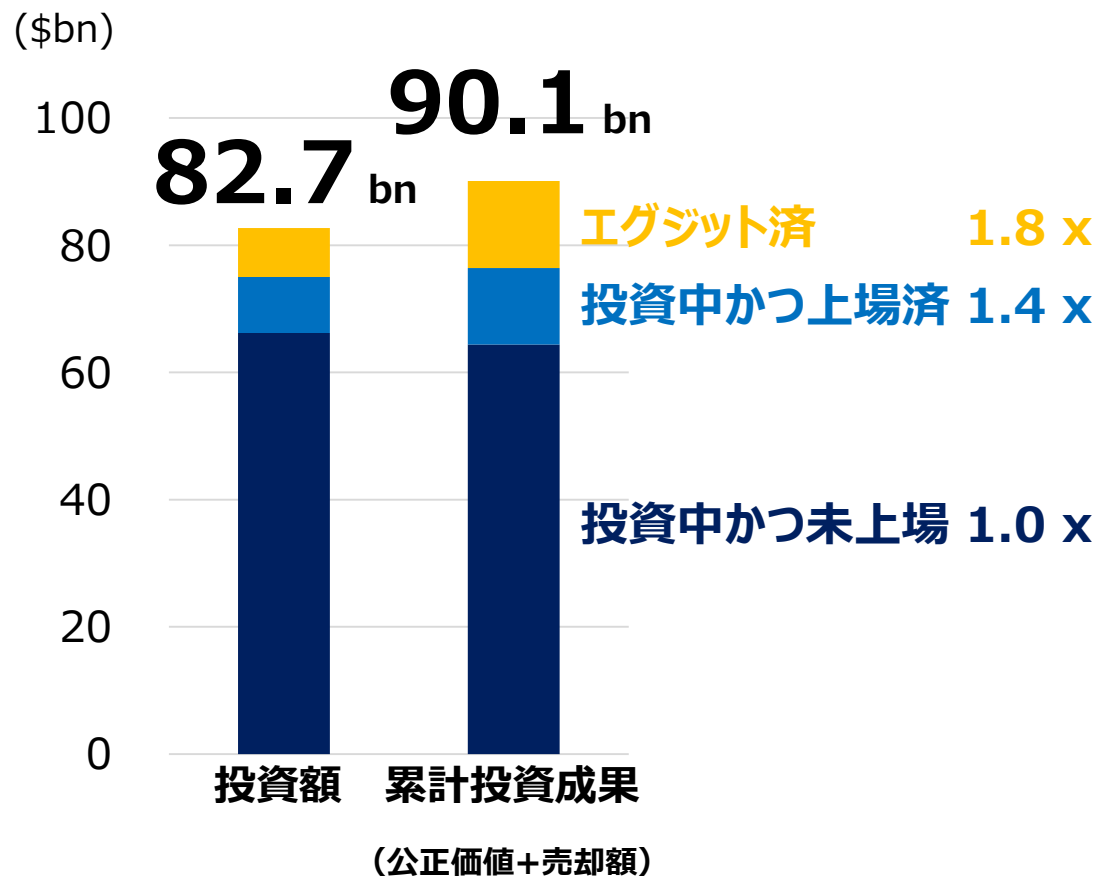
※1 2020年11月9日の終値および、2014年9月19日のNYSE上場時の売価\$68.0を基に算出

※2 BloombergよりSBG作成

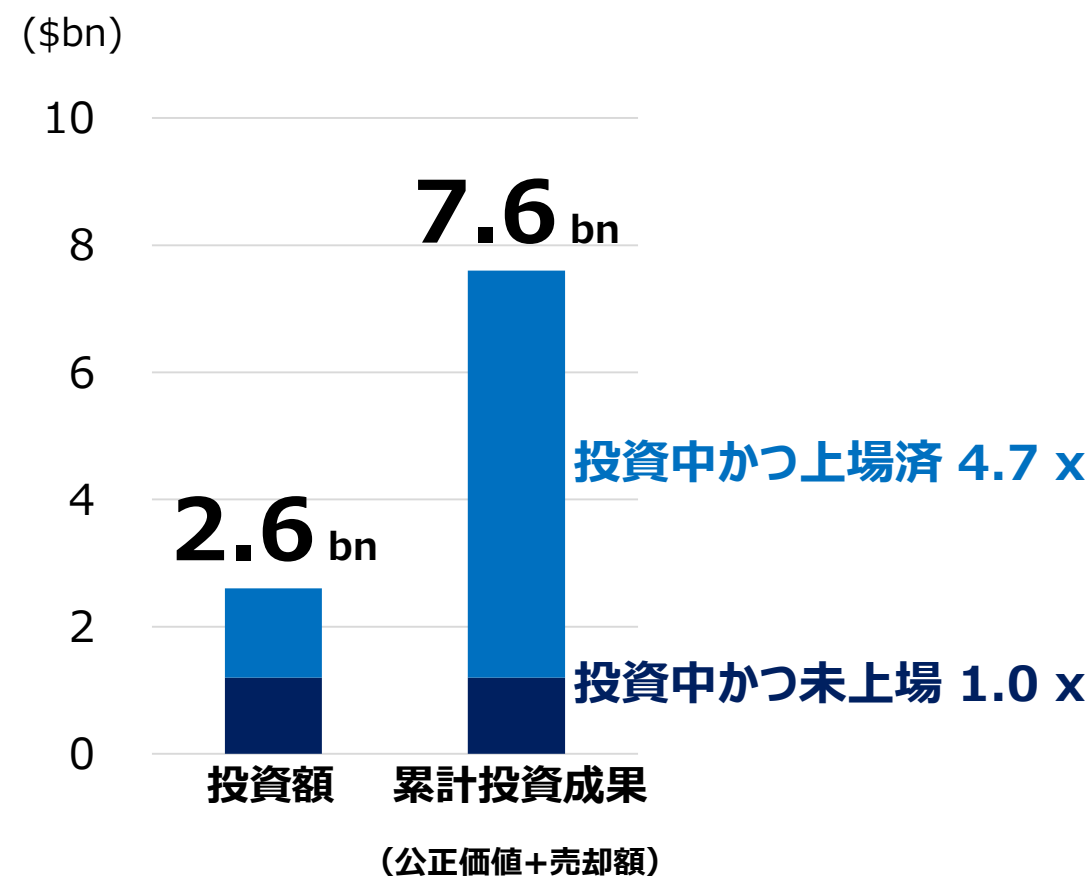
SVF1&2：累計投資成果（SBG連結ベース）

コロナ禍でのオンライン需要や、公開株式市場の復調等により、投資先の価値が増大

SVF1



SVF2



※ 1ドル=105.80円

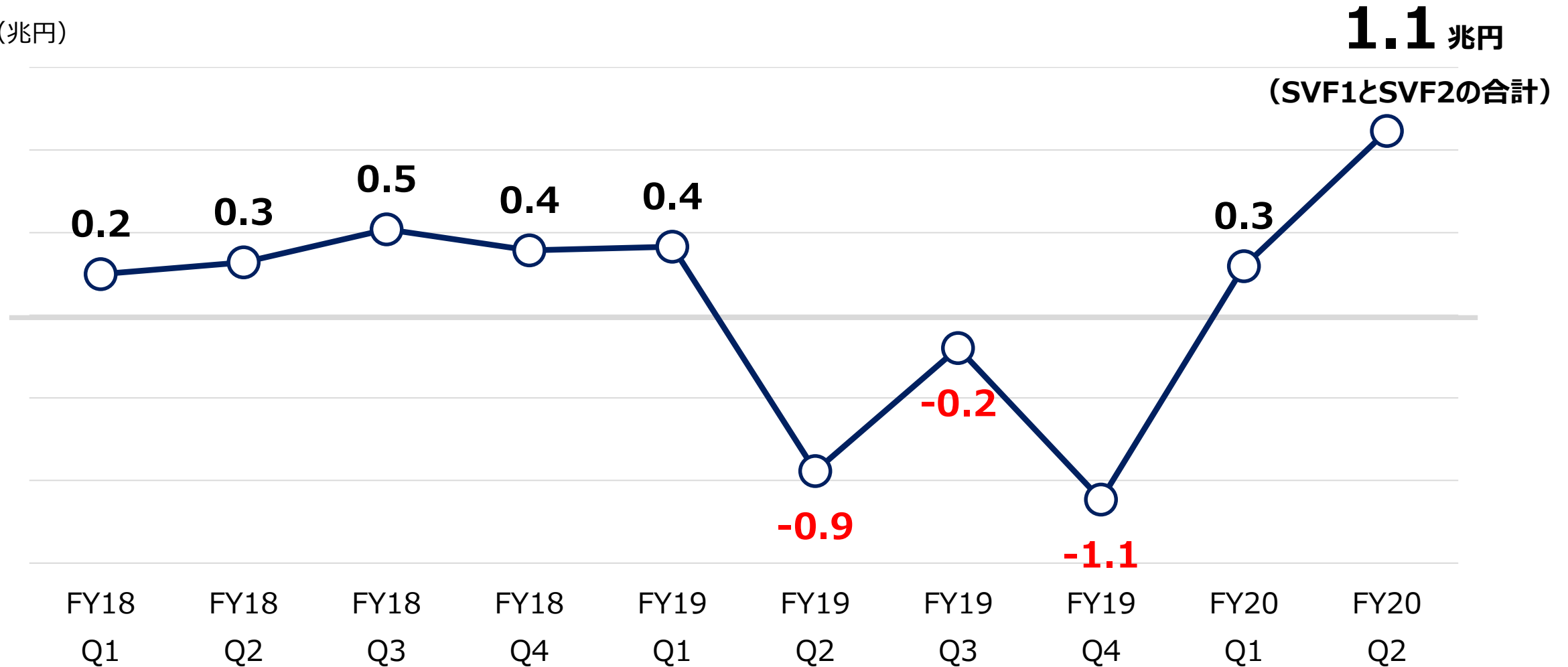
※ 当社からSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は含めていない

※ 外部投資家持分および税金等の控除前

※ SVF1のエグジット済には、既決済済のデリバティブ原価及び損益を含む

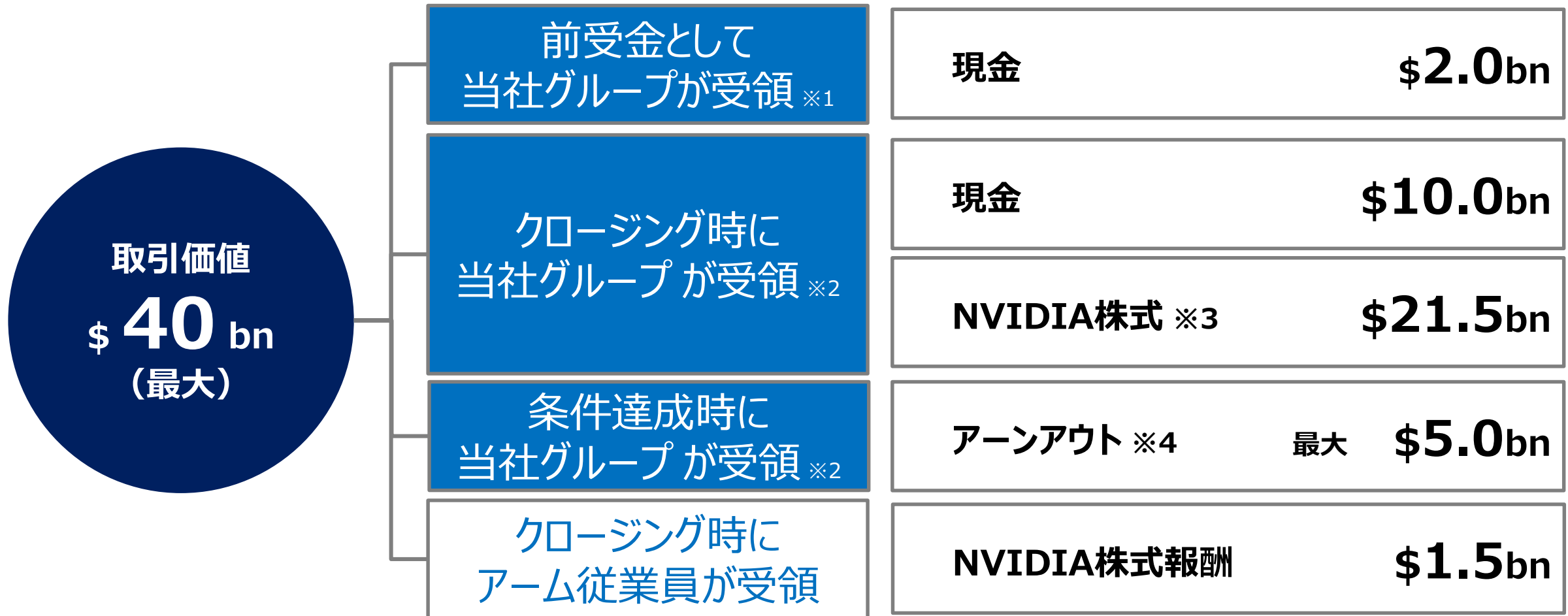
当四半期の3か月において、1.1兆円の投資利益

(兆円)



※1 SVF 1 等SBIA の運営するファンド事業。デリバティブ関連損益を含む

当社はNVIDIAの主要株主（約6.7-8.1%見込）として長期的な成功に引き続きコミット



※1 Softbank Group Capital Limited (SBGC) およびアーム

※2 SBGCおよびSVF1

※3 SBGC およびSVF 1は、本取引のクロージング時にNVIDIA 普通株式44,366,423 株を受取。株式数は1 株当たり484.6007米ドル（20 年9月10 日に終了した連続した30 取引日の同社普通株式終値の平均）に基づき決定

※4 22年3月31日に終了する1年間のアームの売上高およびEBITDA（調整後ベース）がNVIDIAと合意した目標値またはフロア値を達成することを条件とした支払。最大合計50 億米ドルの現金またはNVIDIA 普通株式最大10,317,772 株を受取

※ 1ドル=105.80円

SBGのポートフォリオの強み

流動性の高い有力テクノロジー企業に分散投資

上場株投資

Amazon	Alphabet	Facebook
Salesforce	Adobe	PayPal
Microsoft	Zoom	NVIDIA
Netflix	TSMC	等

Arm	半導体
SBKK	通信
T-Mobile	通信
その他	

保有株式上場割合
(アセットファイナンス控除後)

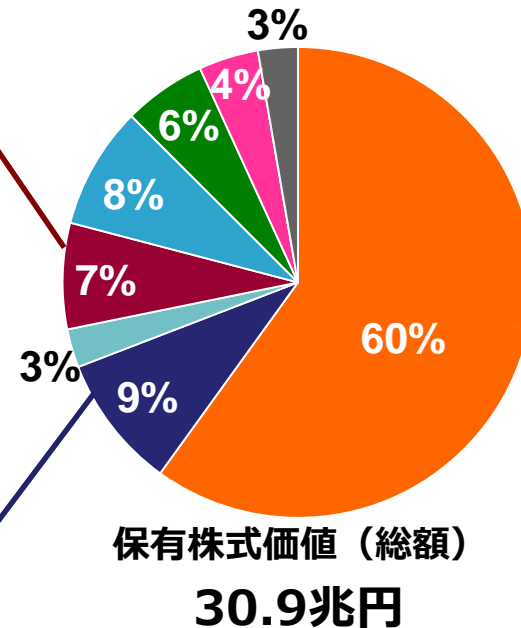
77% ※2

(92% SVF1及びSVF2の上場投資先及びARM株式を含む場合 ※3)

SVF1 ※1

交通&ロジスティクス	エンタープライズ	ヘルステック
Uber Grab DiDi	AUTOMATION ANYWHERE Go be great.	平安好医生 PINGAN GOOD DOCTOR
ヘルステック	教育	コンシューマー
ROIVANT SCIENCES	100 作业帮 让学习更简单	ByteDance

SVF2



Alibaba

フィンテック	BtoC EC
蚂蚁金服 ANT FINANCIAL	Tmall 理想生活上天猫
ITインフラ	BtoB EC
Alibaba Cloud	Alibaba.com
デジタルマーケティング	ヘルスケア
alimama	AliHealth 阿里健康

※1 ここに掲載されたSVF1による投資先企業は、例示のみを目的としており、SBIAによる投資先企業が分散されていることを示すために選択され、SVF1による全ての投資先企業であることを意図しません。ここに含まれた投資先企業に言及していることは、いずれが特定の投資対象又は証券への推奨として解釈してはなりません。将来行われる投資が、ここに掲載された投資先企業の質、パフォーマンスにおいて同等であると想定されるべきではありません。SVF1による投資先企業の完全なリストについては、visionfund.com/portfolioをご参照ください。SBIAはSoftBank Groupの登録アドバイザーであり、独立した関連会社であり、SoftBank Groupとは異なる手順に従い、異なる運用をしています。

※2 保有株式価値 (総額) に占める、上場株式の割合。Alibaba、SBKK、T-Mobile、その他の上場株式の内、SBGに帰属する公正価値を上場株式としてみなす。

※3 上記注釈2で述べた上場株式に加えて、SVF1およびSVF2の上場株式のみなし清算価値(2020年9月末時点の各投資先の保有価値で全て売却すると仮定)におけるSBG持分を含む。Arm株の売却先であるNVIDIAが上場しているため、本資料との関係ではFY20のみ上場株とみなす。これはその他の開示における取り扱いと異なる可能性がありますのでご注意ください。

ファンド

会社名	SB Northstar LP
所在地	ケイマン
資本 ^{※1}	555百万米ドル
持分 ^{※2}	SBG 67%、孫正義 33%
ファンド運営期間	12年+2年

※1 SB Northstar LPに出資を行う当社の子会社3社の資本です。

※2 間接的な持分。2020年7月に孫アセットマネージメント合同会社から当社の子会社3社へ合計185百万米ドルの出資を受け入れました。当該子会社3社はSB Northstar LPに出資しています。

マネージャー

会社名	SB Management Limited
所在地	アラブ首長国連邦アブダビ
CEO	Akshay Naheta
資本構成	SBG 100%
投資意思決定/リスク管理	投資委員会（3名で構成）で承認された方針に基づいて実施

目的

資産の多様化

余剰資金の運用

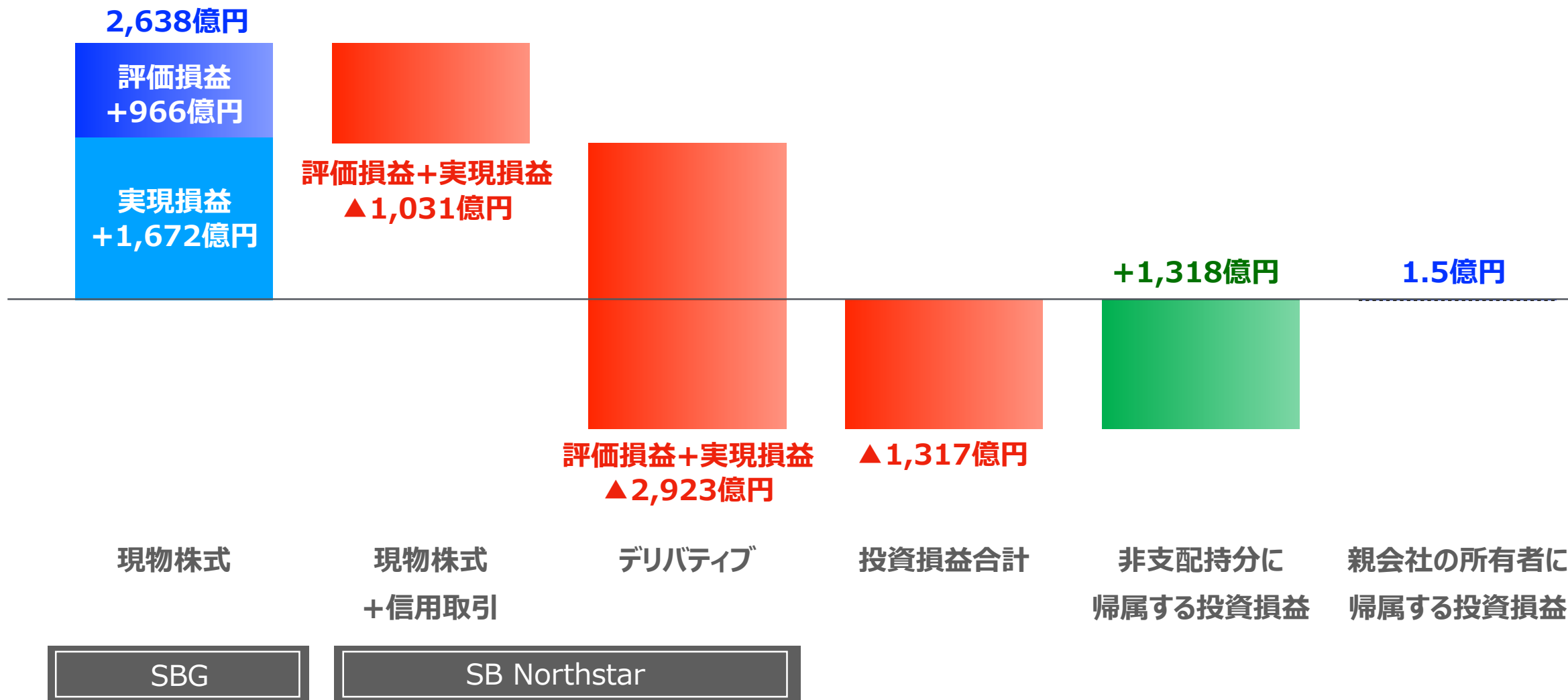
運用方針

投資テーマ：「ビジョン型」投資。上場の有力テクノロジー企業に対し、IT技術革新や新ビジネスモデルに着目し、リスク資本を提供し、情報革命を推進

主にグローバルなテクノロジーセクターの流動性の高い上場優良銘柄に分散投資

運用効率性・リスクコントロールの観点からデリバティブも活用

上場株式等への投資：当第2四半期累計期間の投資損益



(注) 投資損益には、販売費及び一般管理費や税金費用などの影響を含まない。 財務編 23

上場株式等への投資：現物株式（2020年9月末現在）

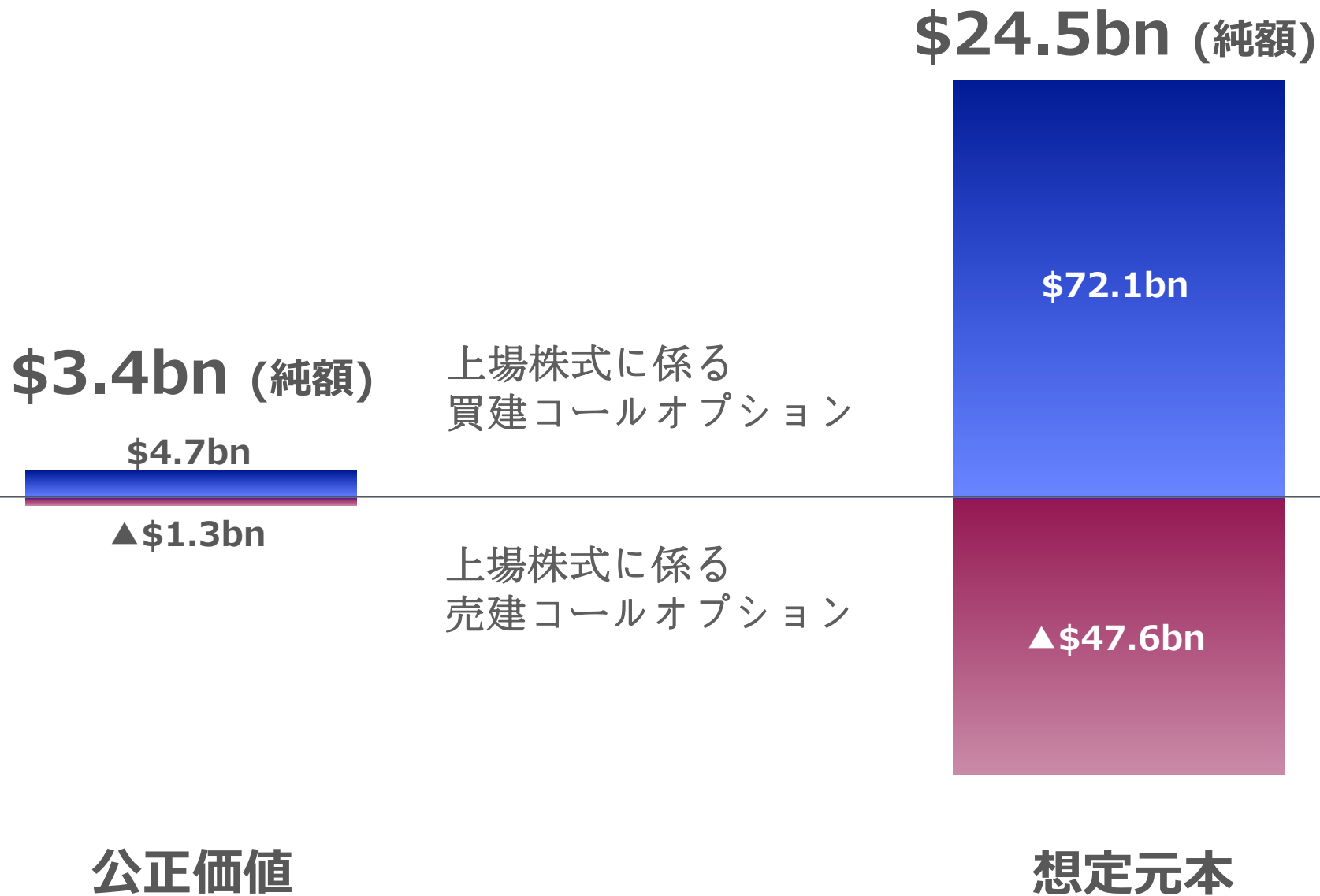
(百万米ドル)

公正価値

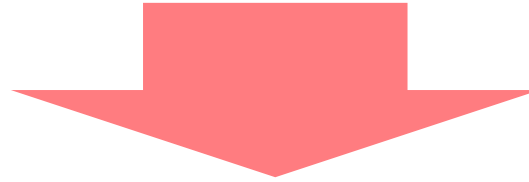
Adobe	685
Alphabet Class A	1,221
Alphabet Class C	206
Amazon.com	6,331
Facebook	2,222
Microsoft	370
Netflix	1,024
PayPal Holdings	249
Salesforce.com	69
TSMC ADR	256
Zoom Video Communications	1,801
その他	2,251
NVIDIA	142
合計	16,825

(注) ソフトバンクグループが保有するNVIDIA Corporation株式も上表に含めています。

上場株式等への投資：オプション（2020年9月末現在）



すべての投資は、投資委員会で承認された投資戦略およびリスク管理方針に従って実施



CROを責任者として、

流動性

カウンターパーティー・
エクスポージャー

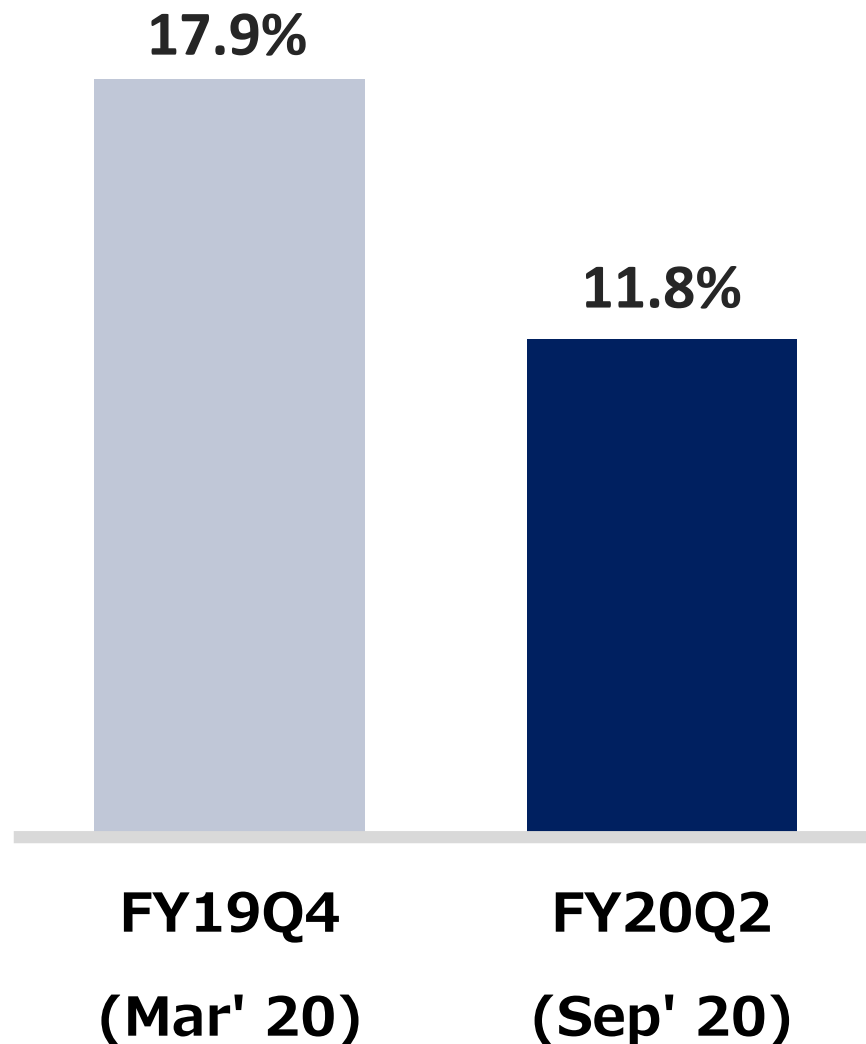
日次PL

市場リスク

のモニタリングを毎日実施

- 4.5兆円プログラムの進捗
- 保有資産の状況
- **財務の状況**
- 財務戦略
- ESGの推進

アセットファイナンス除く



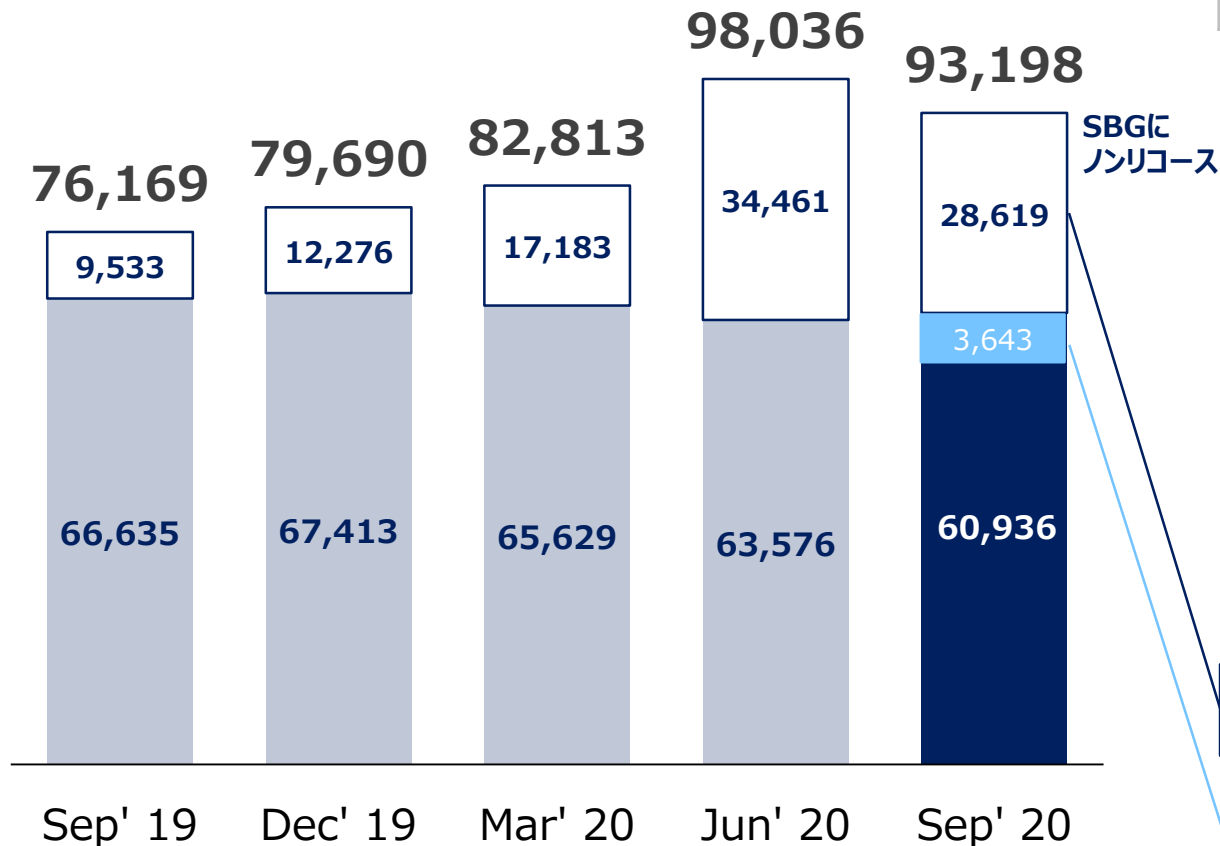
4.5兆円プログラムの進捗により、更に大きな財務バッファを確保

※ 各四半期末時点の数値を記載

※ 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」および「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値」に記載

負債返済の進捗により減少

(億円)



2020年6月末からの主な変動要因	
銀行ローン・CPの増減	(-3,413億円)
社債の増減	(-1,586億円)
マージンローンの増減	(-5,556億円)
株式先渡金融負債の増減	(+1,915億円)

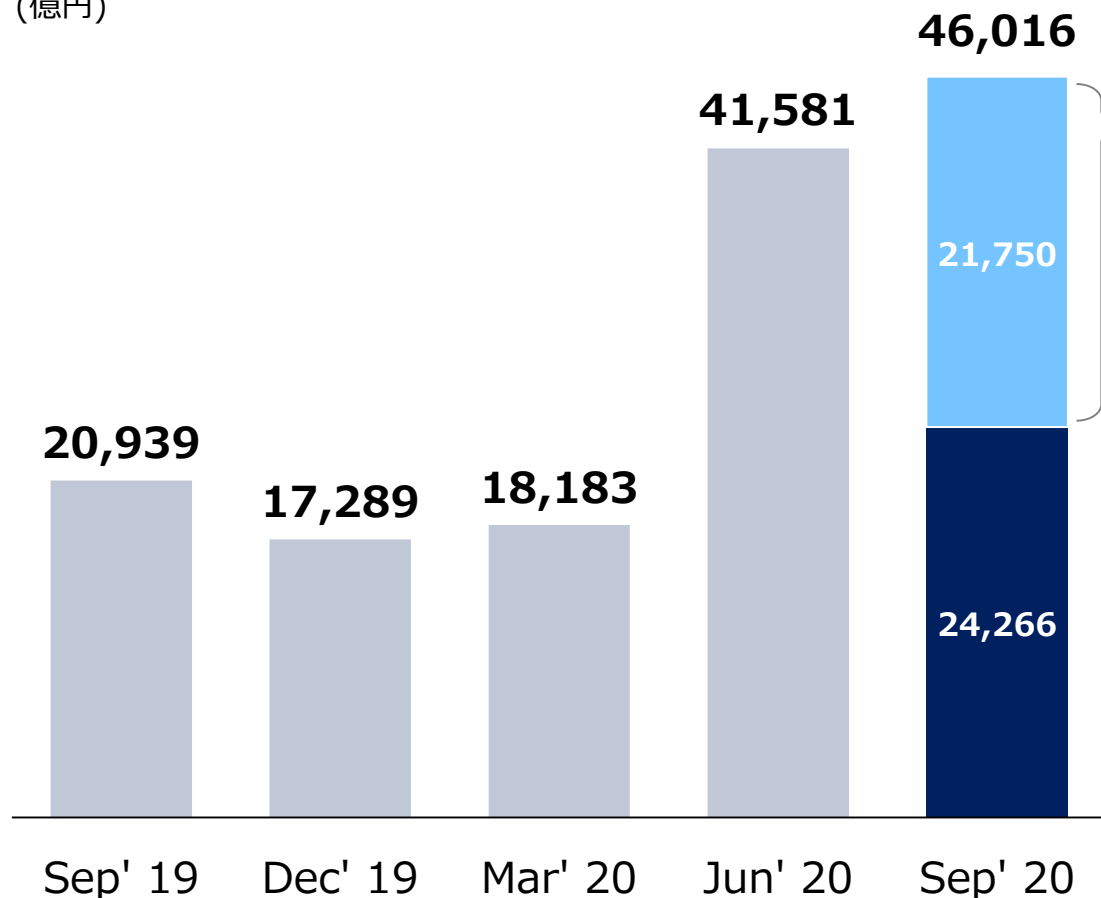
2020年9月末 内訳		(億円)
SBG 借入金		
銀行ローン		8,626
ハイブリッドローン		832
その他		7
小計		9,465
SBG 社債・CP		
国内シニア債		22,702
国内劣後債/ハイブリッド債		12,273
外債		12,829
CP		920
小計		48,724
SBG リース負債		
		136
子会社 有利子負債		
株式先渡契約金融負債		21,246
マージンローン (SBGにノンリコース※2)		7,374
(SBGにリコース※2)		2,201
SB Northstar		3,643
その他		410
小計		34,873
合計		93,198

※1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計

※2 Tモバイル株式を担保としたマージンローン(借入総額\$4.38bn)については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠(\$2.08bn)を控除した\$2.30bnをノンリコースのアセットファイナンスによる借入額としています。尚、SBGが当該保証を履行する前提条件として、金融機関はまず当該マージンローンの担保に供されているアリババ株式から最大限回収を図ることが義務付けられています

大規模な資金化により、潤沢な手元流動性を保持

(億円)



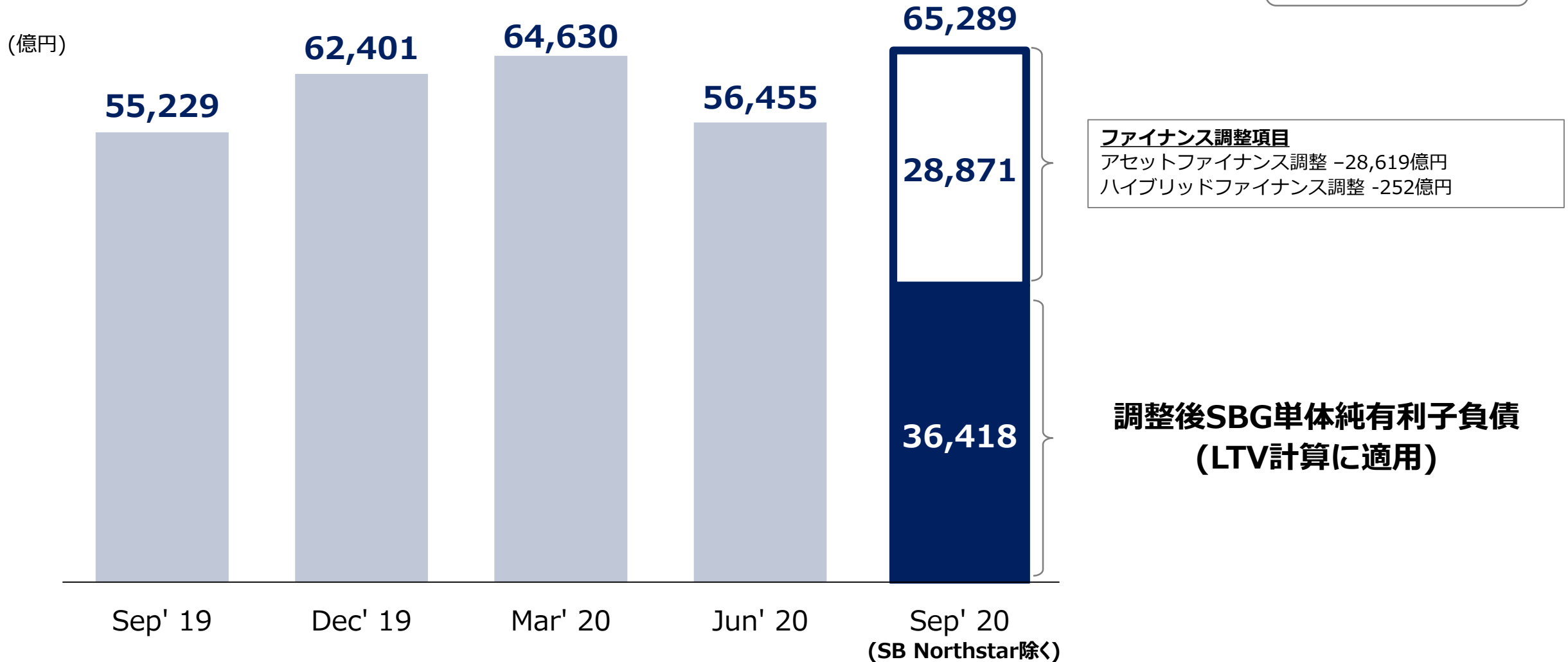
SB Northstar (現預金及び運用中の上場株式)

2020年6月末～9月末までの主な変動要因	
増加	減少
ソフトバンク株式の一部売出し (+1兆2,167億円)	アリババ株式マージンローンの返済 (-\$9.4bn)
Tモバイル株式マージンローン (+\$4.4bn)	自己株式取得 (-4,384億円)
SB Northstarによる資金調達 (+\$3.4bn)	銀行ローン・CPの増減 (-3,413億円)
Tモバイル株式ライセンスオファリング (+\$2.0bn)	国内社債バイバック (-1,676億円)
アリババ株式を活用した資金調達 (+\$1.7bn)	

※ 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資。SBG単体ベース

株主還元や手元資金の運用により増加

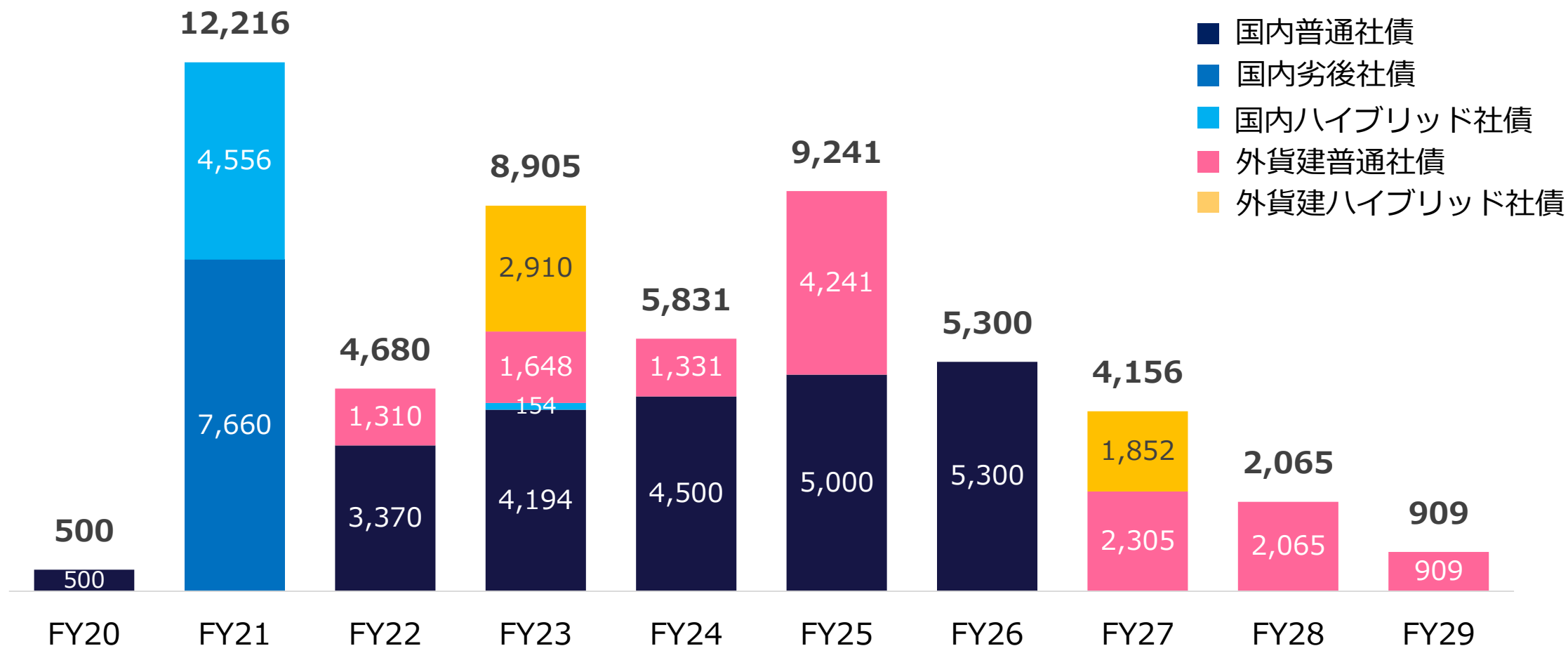
SB Northstar除く



※ 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」に記載

リファイナンスを中心に多様な返済オプションを検討

(億円)



※ 2020年9月30日時点発行残高
 ※ ハイブリッド社債は、すべて初回コール日に早期償還するケース
 ※ 外貨建社債は、スワップを締結しているものはスワップレートにて換算、それ以外は1ドル=105.80円にて換算
 ※ バイバックにより取得した自己保有社債を除く

- 4.5兆円プログラムの進捗
- 保有資産の状況
- 財務の状況
- **財務戦略**
- ESGの推進

あらゆる変化に適応できる柔軟な財務運営

財務方針の堅持

市場環境に応じた
機動的な財務運営

1. 通常時 LTV25%未満 で運用 (異常時でも上限35%)

2. 少なくとも 2年分の社債償還資金 を保持

3. SVFや子会社から 継続的な配当収入 を確保

投資先の財務は
独立採算

救済投資は
行わない

4.5兆円プログラムの実施による株主還元と財務改善の両立

新規投資と回収のバランスを適切にコントロール
(投資機会の到来に備える)

市場との対話を重視した財務運営

- 4.5兆円プログラムの進捗
- 保有資産の状況
- 財務の状況
- 財務戦略
- **ESGの推進**

ESGに対する本質的な取組みを継続

- ・ 変化する社会課題に率先して取り組み、社会全体の潮流につなげていく
- ・ SBGとして取り組むべき課題を継続的に議論し、実践的に取り組んでいる

情報発信をさらに強化

- ・ Chief Sustainability Officer任命、サステナビリティ委員会設置を機に、今後ESGの取組みの発信をより強化

主な取組例

SBG

- ・ 自然エネルギー事業
- ・ コロナ対応

ファンド事業

- ・ 多様性への取り組み

アーム事業

- ・ 格差解消への取り組み

ソフトバンク事業

- ・ IT人材育成

- 2015年のパリ協定やSDGs以前から自然エネルギーの重要性を認識
- 2011年より国内外で自然エネルギー普及のための土壌作りに貢献
 - 自然エネルギー協議会の設立（2011）
 - 日本で初めてFIT方式を活用した大規模太陽光発電所の運営を開始（2012）
 - モンゴルで風力発電事業開発を開始（2012）
 - FIT方式を活用した発電所の資金調達で、日本初のノンリコース型プロジェクトファイナンス組成に成功（2014）
 - インドで自然エネルギーの開発事業を開始（2015）

自然エネルギー由来の電力供給

日本	年間	約598 GWh
モンゴル	年間	約218 GWh
インド	年間	約2,269 GWh

CO₂排出削減量

日本	年間	約28 万トン
モンゴル	年間	約23 万トン
インド	年間	約195 万トン

S: 社会への取り組み コロナウィルス対策

- ・刻々と変化する状況に迅速に対応
- ・医療分野・経済活動の早期正常化に向けた主体的な取り組みを実施

医療従事者の防護具不足

防護具の無利益提供

マスク 約**3.5**億枚
ゴム手袋 約**200**万枚
フェイスシールド 約**21**万個 等



4月

国内感染状況が不明確

抗体検査キット寄附

約**2,000**医療機関等
約**35**万キット
約**4**万人の検査結果公表



5月

経済正常化へのPCR検査ニーズ増加

PCR検査センター設立

2,000円で無利益提供
約**950**社の申込



6月~

より多様性のある社会を実現するためマイノリティ起業家を積極的に支援

『SB Opportunity Fund』

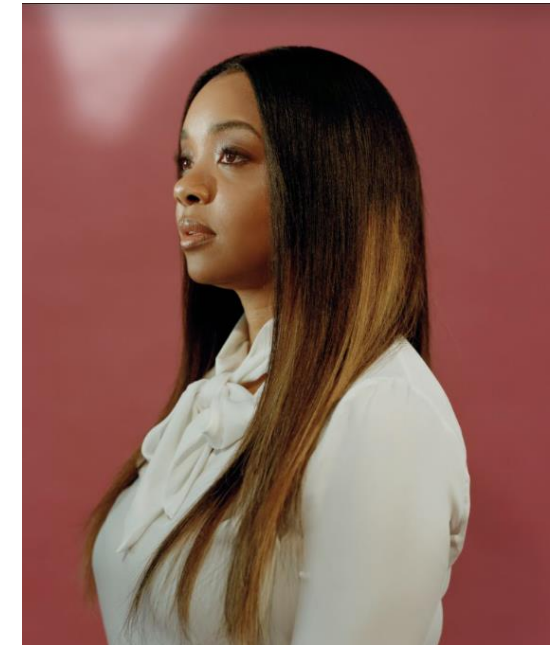
人種的マイノリティを対象とした米国最大のVenture Fund /\$100M
アフリカ系、ラテン系、ネイティブアメリカンの起業家を対象
現在18社に投資



Lendtable



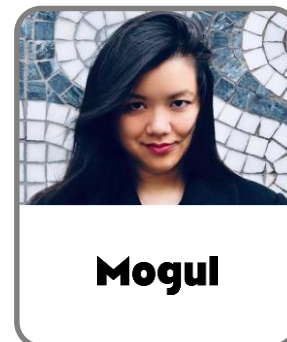
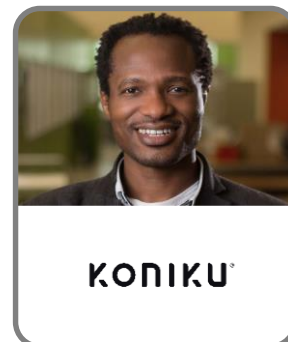
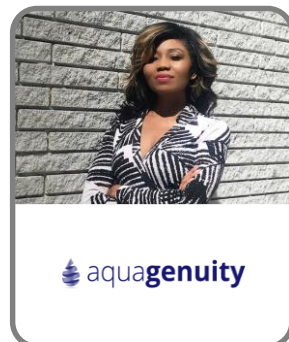
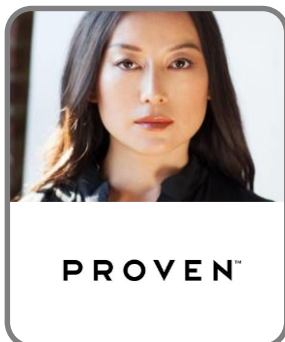
PlayVS



CAPWAY

『Emerge Program』

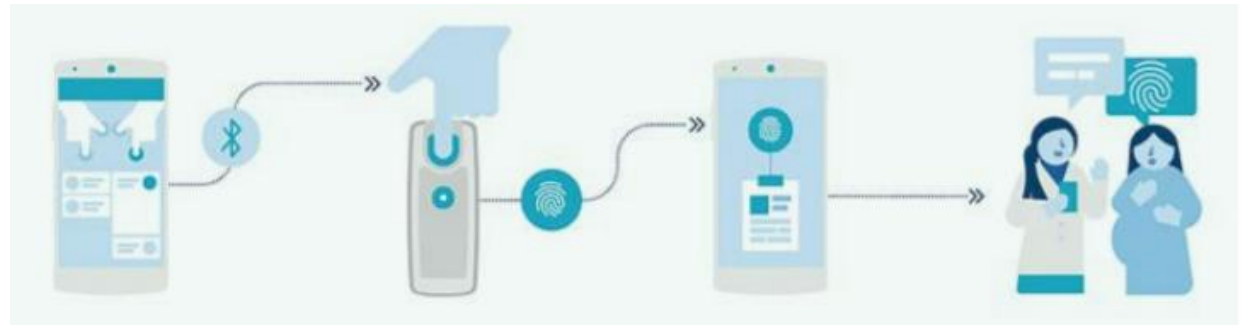
多様な人種、LGBTQなどのマイノリティ起業家を対象
現在12社に投資、5社が資金調達を完了
ソフトバンクのエコシステムを活用してバックアップ



ITを用いた格差解消・社会的イノベーションへの貢献

『Simprints (シムプリント)』

身元証明ができない人々に、指紋情報を用いて身元証明を可能にする仕組み
医療・教育・資産管理などの生活サービスへのアクセスを可能にする
11ヶ国で導入 25万人に提供



1

簡単なユーザー
インターフェイス

2

利用者の指
を乗せるだけ

3

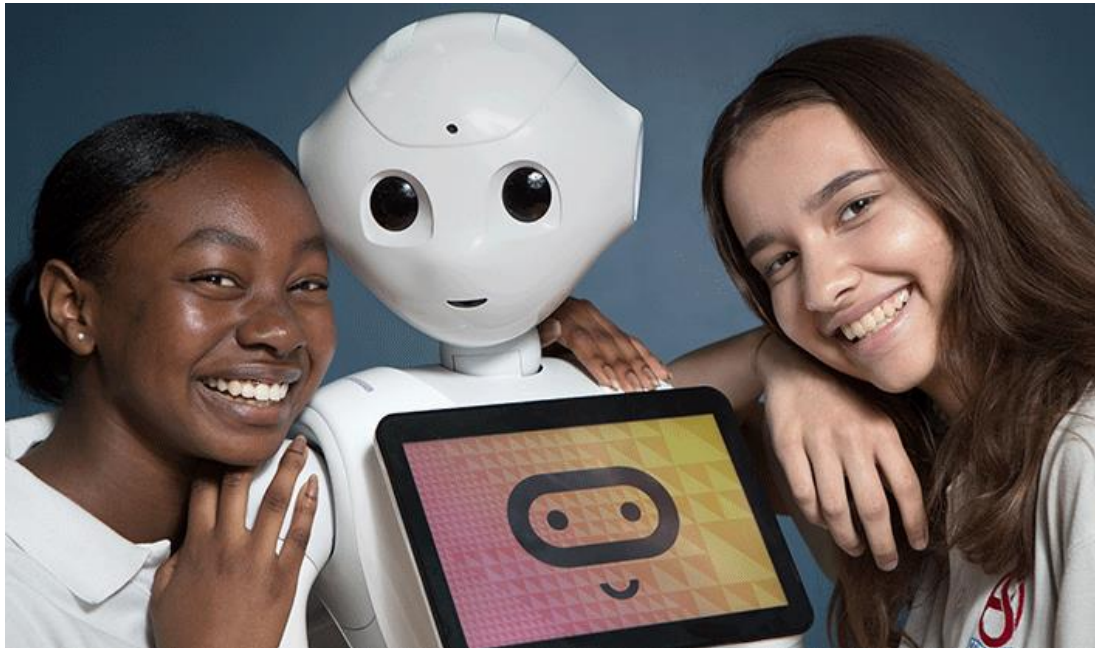
最適なアルゴリズムを実行

4

ユニーク I D で継続
的なサービスを提供

未来のIT人材の育成のためプログラミング教育の機会を提供

『IoTチャレンジ』
Pepperを用いたロボットプログラミングと
拡張性が高いmicro:bitを組み合わせ、
創造的なプログラミング学習を提供



機動的な意思決定と、リスク軽減のバランスを重視しながら、戦略的投資会社にふさわしいガバナンスを実装

■ 透明性の向上・信頼の向上（資本市場の理解を得る努力）

指名報酬委員会の設置



取締役の報酬決定プロセスの透明性向上

取締役のダイバーシティ



多様な取締役による、幅広いステークホルダーの観点からの議論を推進

投資先へのガバナンス
ガイドライン導入



グループ（SVF含む）の投資先に一定のガバナンスを求めるガイドラインを策定済、投資先への導入を推進

CROの就任



効果的なリスクマネジメントプロセスの確立を目指す

開示の充実



開示を更に充実（例：資産運用子会社関連）

重要情報管理・評判リスク



子会社・関連会社・取引先含め、グローバルに全社でベストプラクティスを目指す

コーポレートガバナンスの強化と新執行役員を選任

- 取締役会における社外取締役比率の向上：取締役9人のうち4人が社外取締役
 ✓ 社外比率が大幅に向上：4/13(30.8%) ➡ 4/9(44.4%)。他の東証1部上場企業との比較でもトップクラス
- 経営の意思決定機能と業務の執行機能分離による業務執行責任者の明確化

新取締役体制

代表取締役	孫 正義
取締役	ロナルド・フィッシャー
取締役	後藤 芳光
取締役	宮内 謙
取締役	サイモン・シガース
取締役(社外)	飯島 彰己
取締役(社外)	松尾 豊
取締役(社外)	リップラー・タン
取締役(社外)	川本 裕子

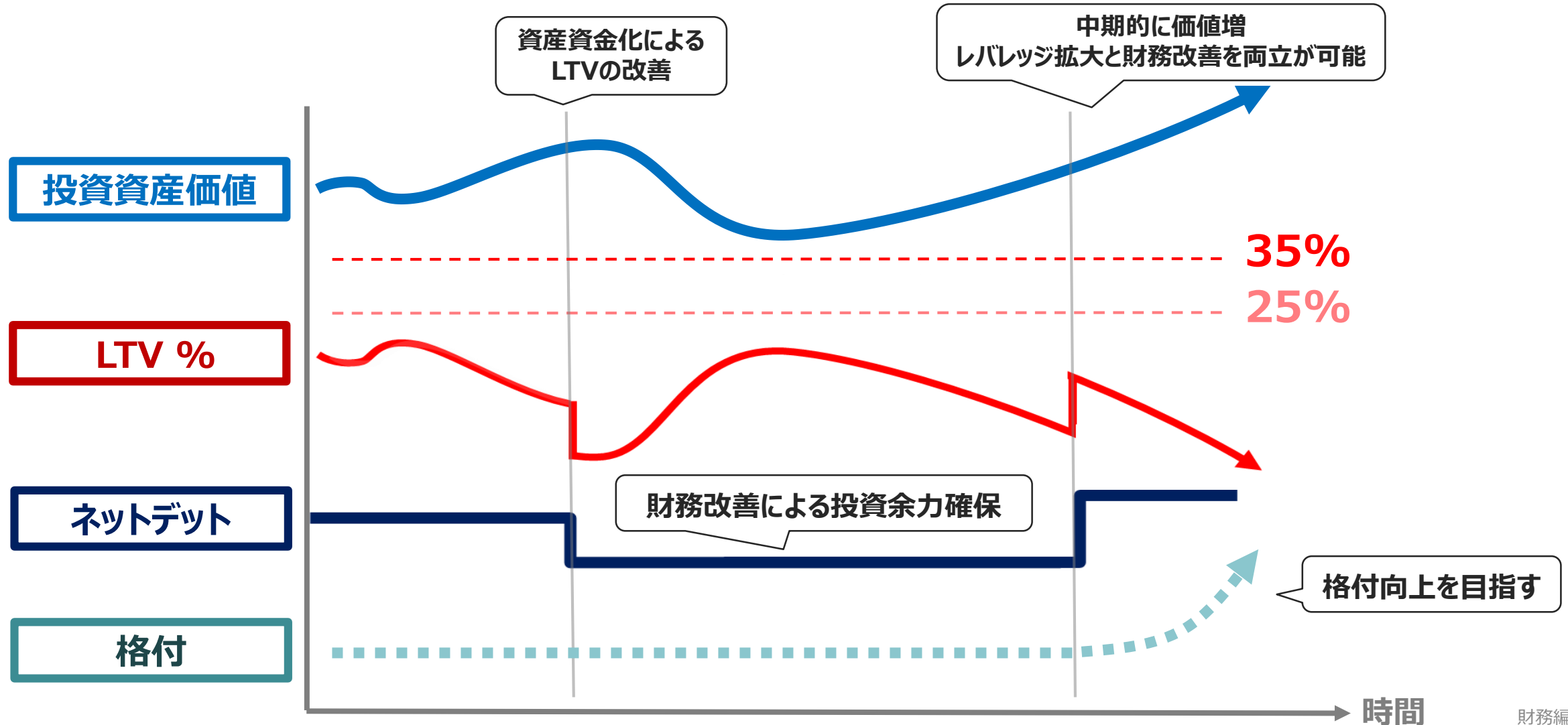
新執行役員体制

会長 兼 社長執行役員	孫 正義
副会長執行役員	ロナルド・フィッシャー
副社長執行役員 COO	マルセロ・クラウレ
副社長執行役員 CSO	佐護 勝紀
副社長執行役員	ラジーブ・ミスラ
専務執行役員 CFO 兼 CISO 兼 CSusO	後藤 芳光
常務執行役員	君和田 和子
常務執行役員 CLO	ロバート・タウンゼンド※
常務執行役員	ゲーリー・ギンズバーグ

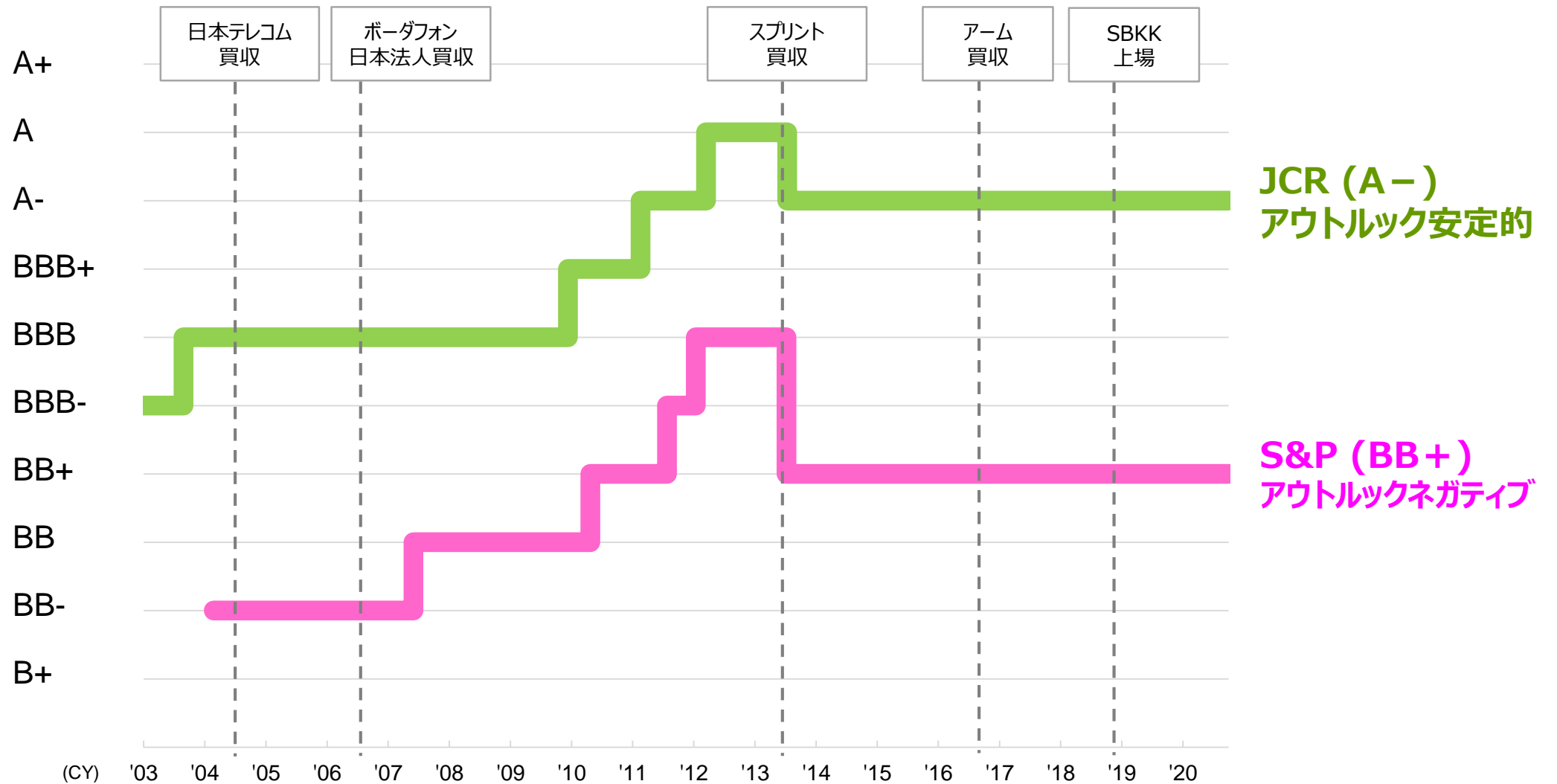
※ ロバート・タウンゼンドは辞任し、ティム・マキが執行役員に就任予定です。

Appendix

コロナ禍のもと、資産資金化による保守的な財務運営を実施 財務安定性を確保し、今後の投資機会の到来に備える



投資持株会社の格付規準のもと、格付の向上を目指す



(L) 調整後
SBG単体 純有利子負債^{※1}

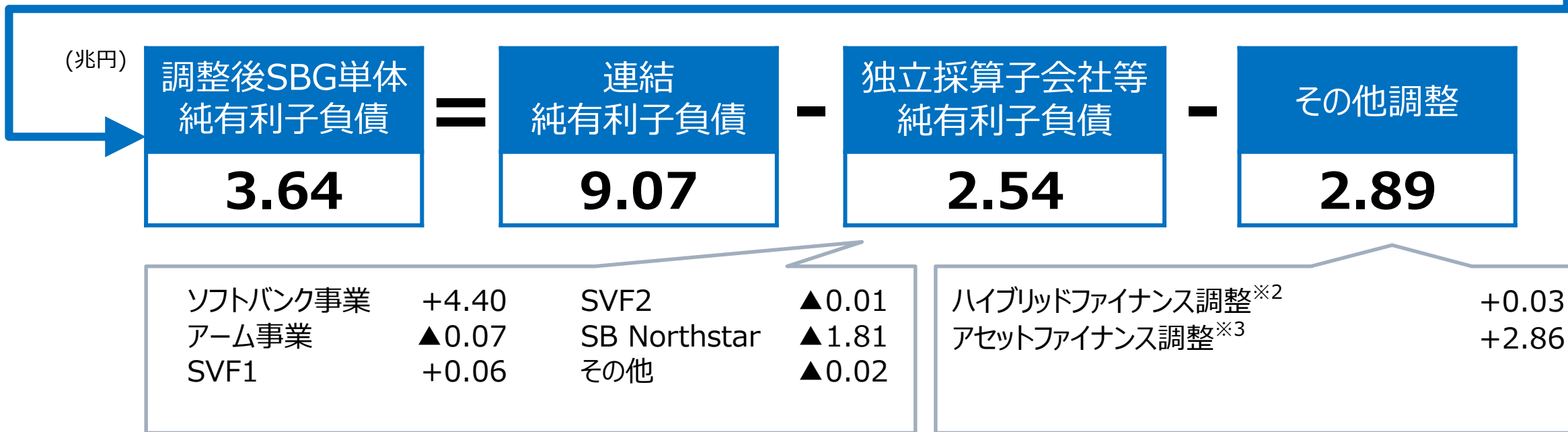
3.64兆円

=

11.8%

(V) SBG単体 保有株式価値

30.94兆円



※1 各事業の純有利子負債はSBG連結外部に対する有利子負債のみ。ジャパンネット銀行の(銀行業の預金-手元流動性)は含まない

※2 2017年7月発行のハイブリッド債は、連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入。

2016年9月発行のハイブリッド債および17年11月実行のハイブリッドローンは、連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除

※3 純有利子負債は以下の金額を考慮

a)2020年9月30日までに実行された、アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約（先渡契約、フロア契約、カラー契約）に係る株式先渡契約金融負債(21,246億円)(なお、コールスプレッドに係るデリバティブ負債は有利子負債に含まれない)

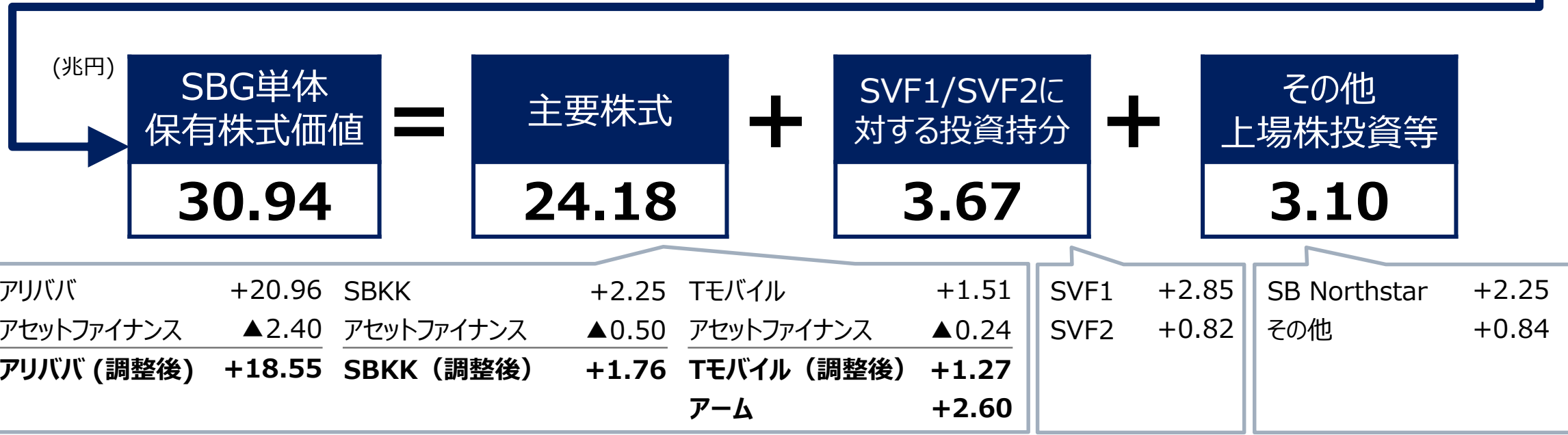
およびSBKK株式を活用したマージンローン負債残高相当額（4,980億円）の合計

b)Tモバイル株式を活用したマージンローンの負債残高相当額(4,594億円)のうちノンリコースのアセットファイナンスとしている金額(2,393億円)を純有利子負債から控除。(Tモバイル株式を担保としたマージンローン（借入総額4.38bn）については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠(\$2.08bn)を控除した金額をノンリコースのアセットファイナンスによる借入額としています。なお、SBGが当該保証を履行する前提条件として、金融機関はまず当該マージンローンの担保に供されているアリババ株式から最大限回収を図ることが義務付けられています。)

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値

(L) 調整後 SBG単体 純有利子負債 3.64兆円

(V) SBG単体 保有株式価値 **30.94兆円** = **11.8%**

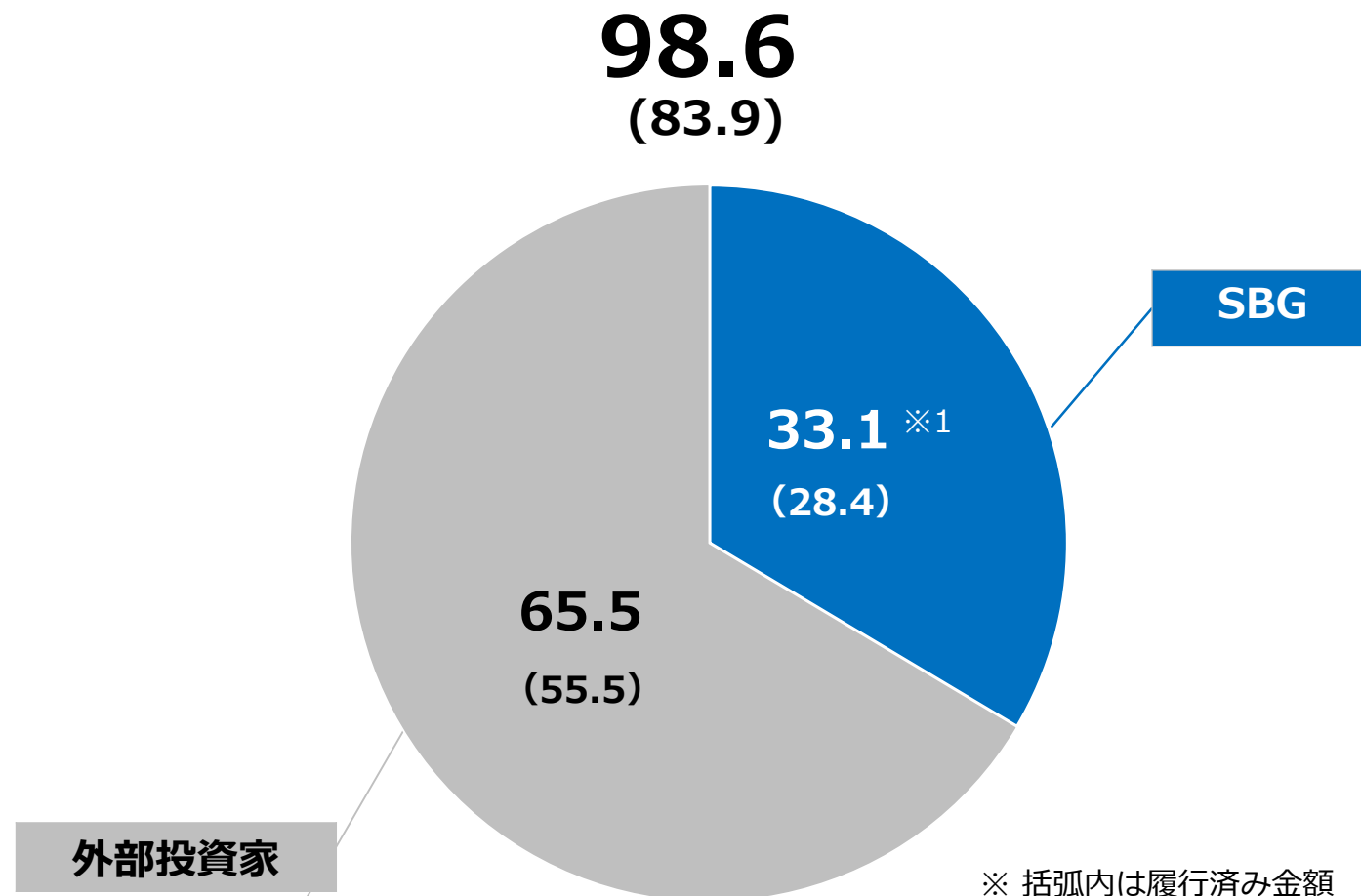


※ 上場株価および為替レートは、2020年9月30日時点

- アリババ：SBGの保有株式数に同社の株価を乗じて算出。下記の同社株式を活用したアセットファイナンスの決済に必要な金額を控除
2020年9月30日までに実行された、同社株式を活用した複数の先渡し売買契約（先渡し契約、フロア契約、カラー契約・コールスプレッド）の満期決済金額（2020年9月30日の同社株価で算出）の合計額（24,046億円）
- SBKK：SBGの保有株式数に同社株価を乗じて算出。同社株式を活用したマージンローン負債残高相当額(4,980億円)を控除
- Tモバイル：SBGの保有株式数に同社株価を乗じて算出（ドイツテレコムが受領した株式購入オプションの対象となる株式数(101,491,623株)を含む）。一定の条件下でTモバイル株式(48,751,557株)をSBGが無償で取得できる権利の公正価値およびTモバイルによる現金強制転換証券（Cash Mandatory Exchangeable Trust Securities）を発行する信託へのTモバイル株式の売却取引に関連し、一定の条件下でSBGの子会社がTモバイル株式を取得できる権利の公正価値を加算。ドイツテレコムが受領した株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額およびTモバイル株式を担保としたマージンローンの負債残高相当額（4,594億円）のうち、ノンリコースのアセットファイナンスとしている金額（2,393億円）を控除。
（Tモバイル株式を担保としたマージンローン（借入総額\$4.38bn）については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠(\$2.08bn)を控除した金額をノンリコースのアセットファイナンスによる借入額としています）
- アーム：SBGによる取得時の対価を基準とし、SVF1の保有株式数を除いて算出
- SVF1：SVF1の保有資産価値相当におけるSBGの持分 + 成功報酬の見込金額等
- SVF2：SVF2の保有資産価値相当 + 成功報酬の見込み金額
- 上場株投資：SB Northstarの保有資産価値に対するSBGの持分等
- その他：上場株式は、SBGの保有株式数に各上場株式の株価を乗じて算出。非上場株式はSBGが保有する未上場株式等の公正価値に基づいて算出

SVF1 : コミットメント状況 (2020年9月末)

(\$ bn)



※1 SVF1へのSBGの出資コミットメントは、Arm Limited株式を活用した約82億米ドル相当の支払義務履行分（全該当株式を抛済済み）のほか、SVF1に関連するインセンティブ・スキームへ活用される予定の50億米ドルを含む

SVF1：投資成果（2020年9月末時点）

	(a) 投資額 ※2	(b) 時価 ※1 (グロス)	(c) = (b) - (a) 損益 (グロス)
(A) 上場投資 合計	\$9.9	\$15.4	+\$5.5
(B) 未上場投資+売却済投資 合計	\$72.8	\$74.7	+\$1.9
(C)=(A)+(B) SVF1 合計 (SBG連結目線)	\$82.7	\$90.1	+\$7.4

	(d) 累計支払額	(e) 価値合計
SBG 合計 (ネット)	\$24.1	\$26.1
(内訳) SVF1の純資産価値におけるSBGの持分		\$24.5
SBGへ分配済の金額 ※3		\$1.6
SBGが受け取る成功報酬 ※4		-

1.時価（グロス）＝売却前の投資先の公正価値＋売却済の投資先の売却価額。SVF1の各社への投資から得られるSBGのリターンは、コミットメントに占めるSBGの割合に応じて比例配分される金額及びファンドの運営管理者として受け取る金額の合計であり、ファンド全体のリターンとは一致しない。諸費用等考慮前。

2.投資額：SVF1開始から2020年9月30日までの累計投資額。売却済または一部売却済の投資を含む。

3.SBGへ分配済の金額：SVF1開始時から2020年9月30日までに分配済の金額。

4.SBGが受け取る成功報酬：SBIA UKを通じて、SVF1開始時から2020年9月30日までにファンドの運営管理者として得た成功報酬の合計。

SBG連結目線：NVIDIAのヘッジ取引に係るデリバティブ損益等を含む。SBGからSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は含まない。

SVF1 : 上場銘柄 (2020年9月末時点)

会社名	(a) 投資額	(b) 時価 (グロス)	(c) = (b) - (a) 損益 (グロス) ※1	(d) = (b) / (a) 倍率 ※2
Guardant Health	308	2,695	+\$2,387	8.8x
Relay Therapeutics	300	1,188	+\$888	4.0x
Slack	334	1,007	+\$673	3.0x
Vir Biotechnology	199	776	+\$578	3.9x
Uber	7,666	8,107	+\$441	1.1x
Ping An Good Doctor	400	826	+\$426	2.1x
10x Genomics	31	338	+\$307	10.9x
OneConnect	100	95	-\$5	0.9x
ZhongAn	550	398	-\$152	0.7x
※3 (A) 上場投資 合計 (グロス)	\$9,887	\$15,431	+\$5,543	1.6x
(B) 未上場投資+売却済投資等	\$72,827	\$74,704	+\$1,877	
(A)+(B) SVF1 合計 (SBG連結目録)	\$82,714	\$90,135	+\$7,421	

1. 時価 (グロス) = 売却前の投資先の公正価値 + 売却済の投資先の売却価額。売却済の投資先の売却価額は取引手数料、税金および諸費用考慮前。SVF1の各社への投資から得られるSBGのリターンは、コミットメントに占めるSBGの割合に応じて比例配分される金額及びファンドの運営管理者として受け取る金額の合計であり、ファンド全体のリターンとは一致しない。諸費用等考慮前のリターンを掲載。

2. 倍率 : Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。時価 (グロス) を投資額で除して算出。管理報酬、成功報酬、支払利息、その他の費用を控除しない総額ベースにて算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出するため掲載していない。

3. 上場投資 合計 : SVF1からの初期投資以降に上場した銘柄の合計

SBG連結目録 : NVIDIAのヘッジ取引に係るデリバティブ損益等を含む。SBGからSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は含めない。

SVF2 : 投資成果 (2020年9月末時点)

	(a) 投資額 ※2	(b) 時価 ※1 (グロス)	(c) = (b) - (a) 損益 (グロス)
SVF2 合計	\$2.6	\$7.6	+\$5.0

	(d) 累計支払額	(e) 価値合計
SBG 合計 (ネット)	\$2.8	\$7.7

(内訳)	SVF2の純資産価値におけるSBGの持分	\$6.5
	SBGへ分配済の金額 ※3	-
	SBGが受け取る成功報酬 ※4	\$1.2

1.時価（グロス）＝売却前の投資先の公正価値。諸費用等考慮前。

2.投資額：SVF2開始から2020年9月30日までの累計投資額。

3.SBGへ分配済の金額：SVF2開始時から2020年9月30日までに分配済の金額。

4.SBGが受け取る成功報酬：SBIA UKを通じて、SVF2開始時から2020年9月30日までにファンドの運営管理者として得た成功報酬の合計。

SVF2 : 上場銘柄 (2020年9月末時点)

会社名	(a) 投資額	(b) 時価 (グロス)	(c) = (b) - (a) 損益 (グロス) ※1	(d) = (b) / (a) 倍率 ※2
Beike	1,350	6,408	+\$5,058	4.7x
※3 (A) 上場投資 合計 (グロス)	\$1,350	\$6,408	+\$5,058	4.7x
(B) 未上場投資	\$1,298	\$1,237	-\$61	
(A)+(B) SVF2 合計	\$2,648	\$7,645	+\$4,997	

1. 時価 (グロス) = 売却前の投資先の公正価値。諸費用等考慮前のリターンを掲載。

2. 倍率 : Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。時価 (グロス) を投資額で除して算出。管理報酬、成功報酬、支払利息、その他の費用を控除しない総額ベースにて算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出する必要があるため掲載していない。

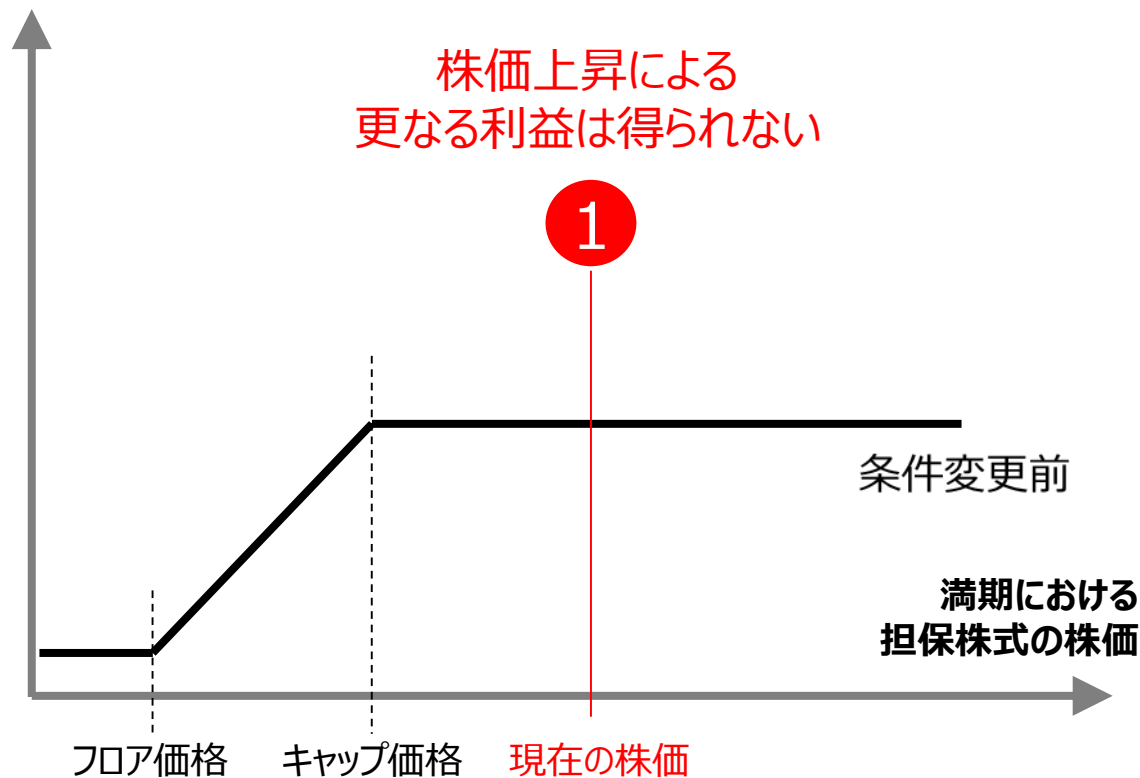
3. 上場投資 合計 : SVF2からの初期投資以降に上場した銘柄の合計

後発事象：カラー取引を活用した資金調達

株価上昇時のアップサイドを追求すべく、カラー取引の条件変更を実施。取引コストを一時的損失として計上

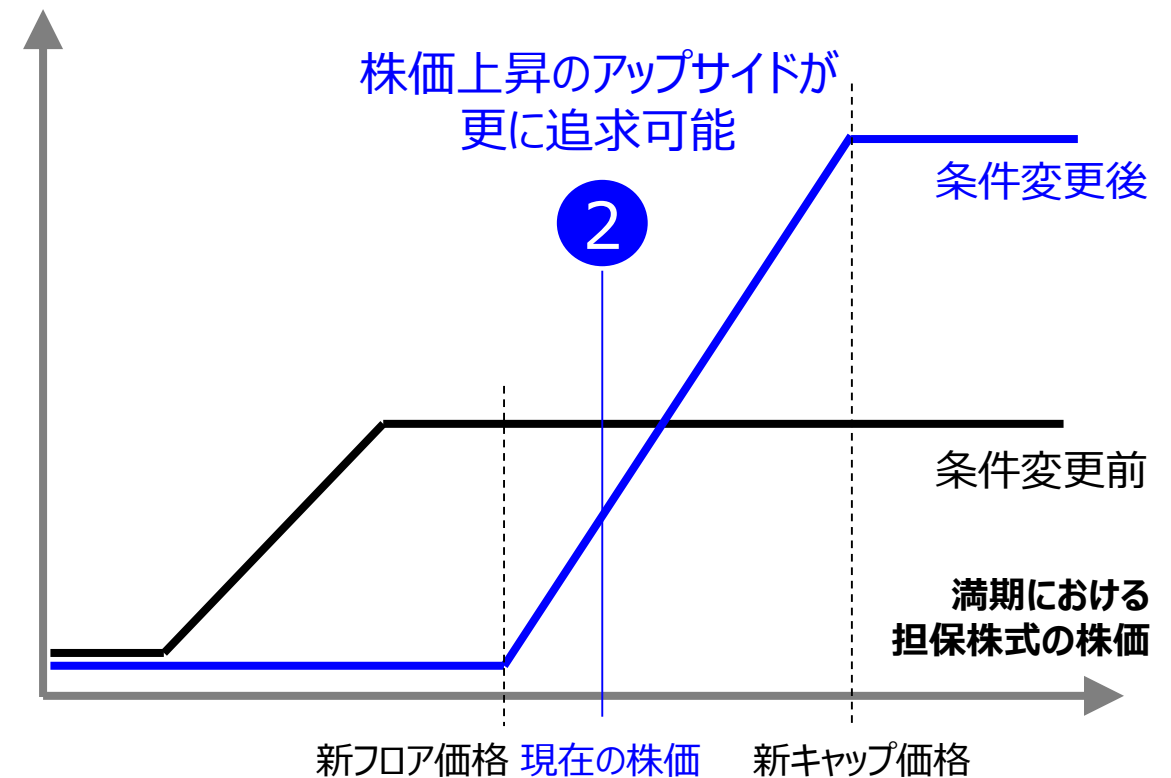
条件変更前

カラー取引の損益



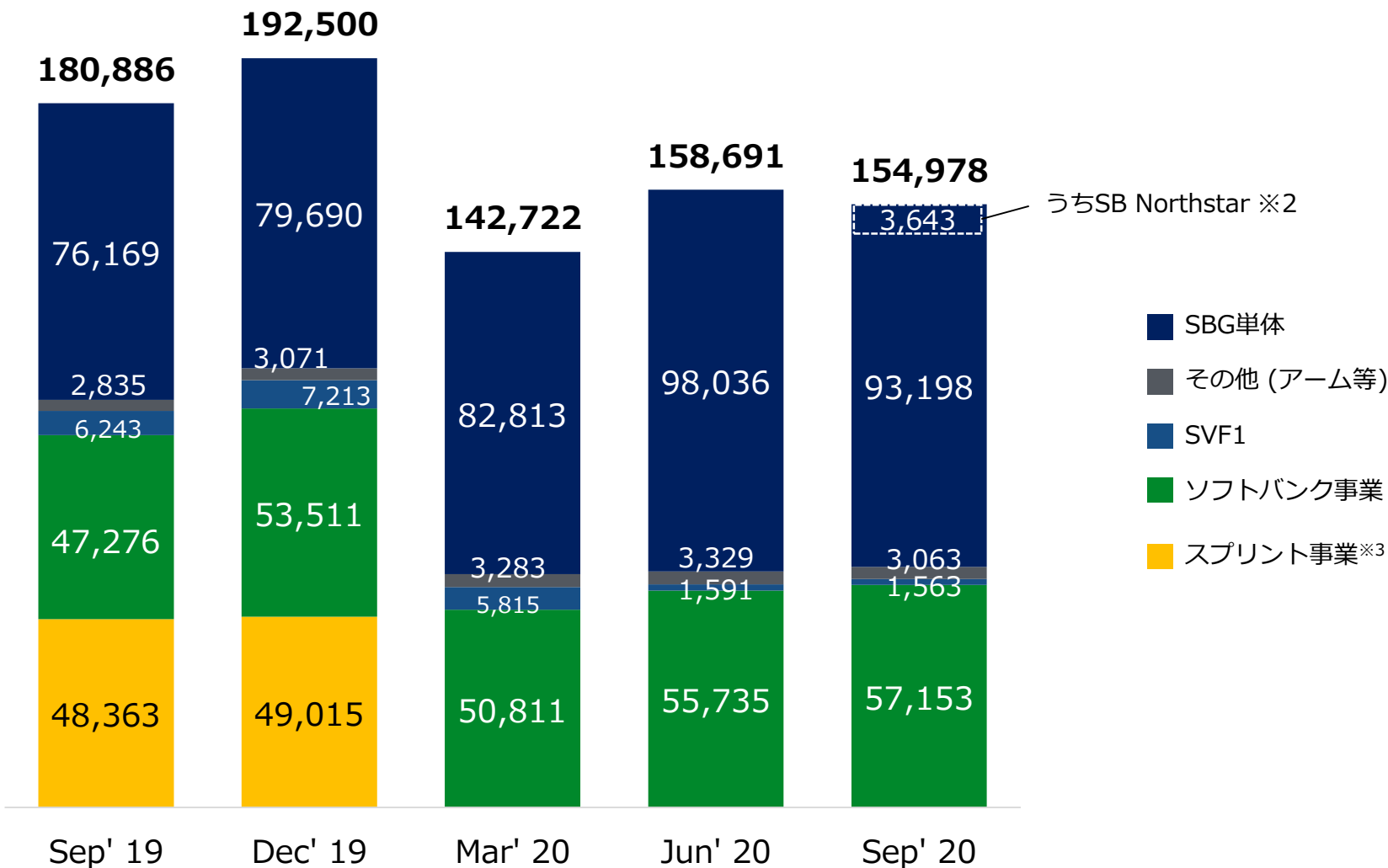
条件変更後

カラー取引の損益



連結有利子負債 ※1

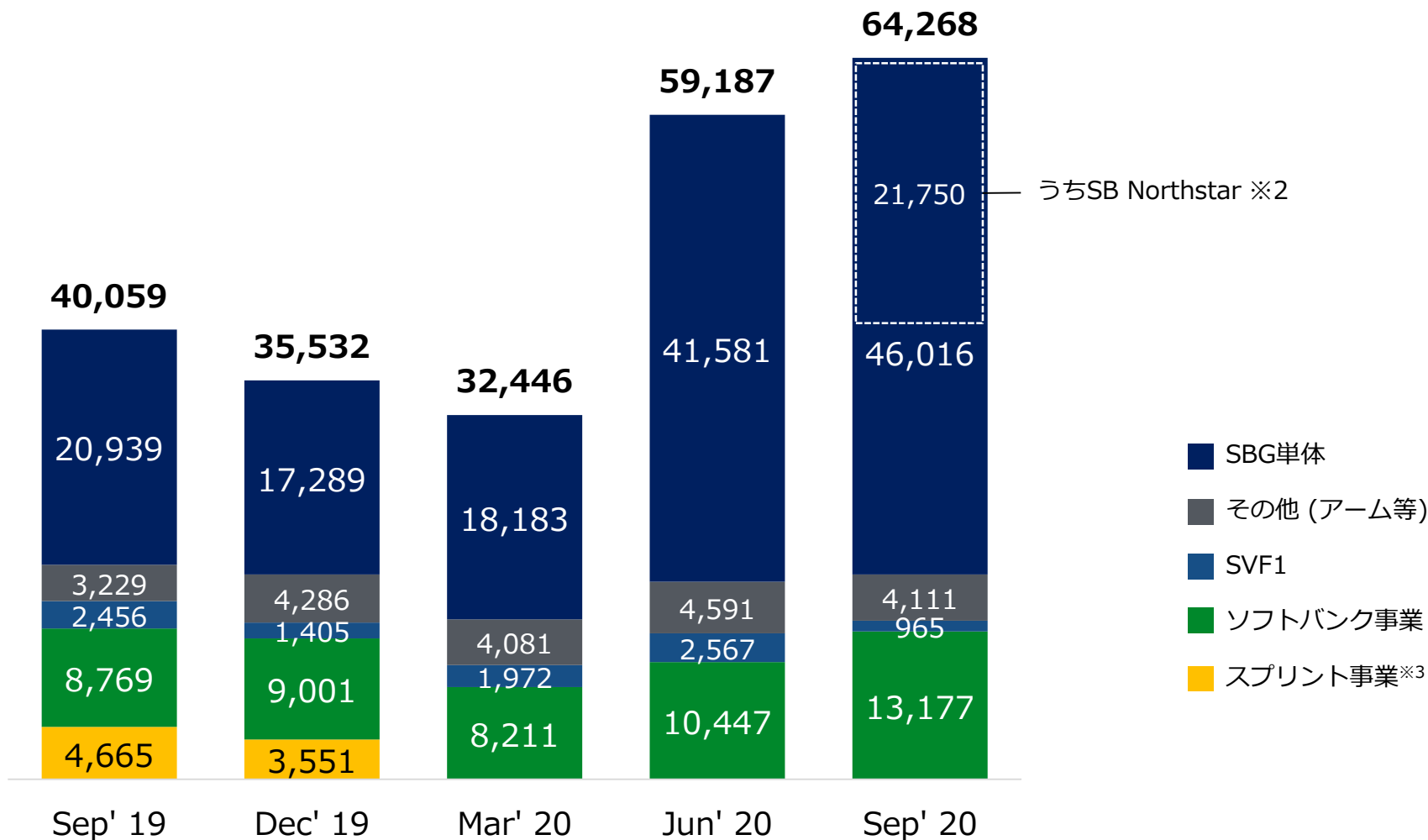
(億円)



有利子負債+リース負債

※1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計。ジャパンネット銀行の銀行業の預金は含まない。2019年6月期からIFRS16適用に伴い従前オペレーティング・リースに分類されていたリース取引を「リース負債」として従前のリース債務と合算して計上
 ※2 SB Northstarの有利子負債 (3,643億円) はSBG単体を含む
 ※3 2020年3月期からスプリント事業が非継続事業に分類されたことに伴い、スプリント事業の有利子負債は連結有利子負債に含まれない

(億円)



※1 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + コミットラインの未使用枠。ジャパンネット銀行の手元流動性は含まない

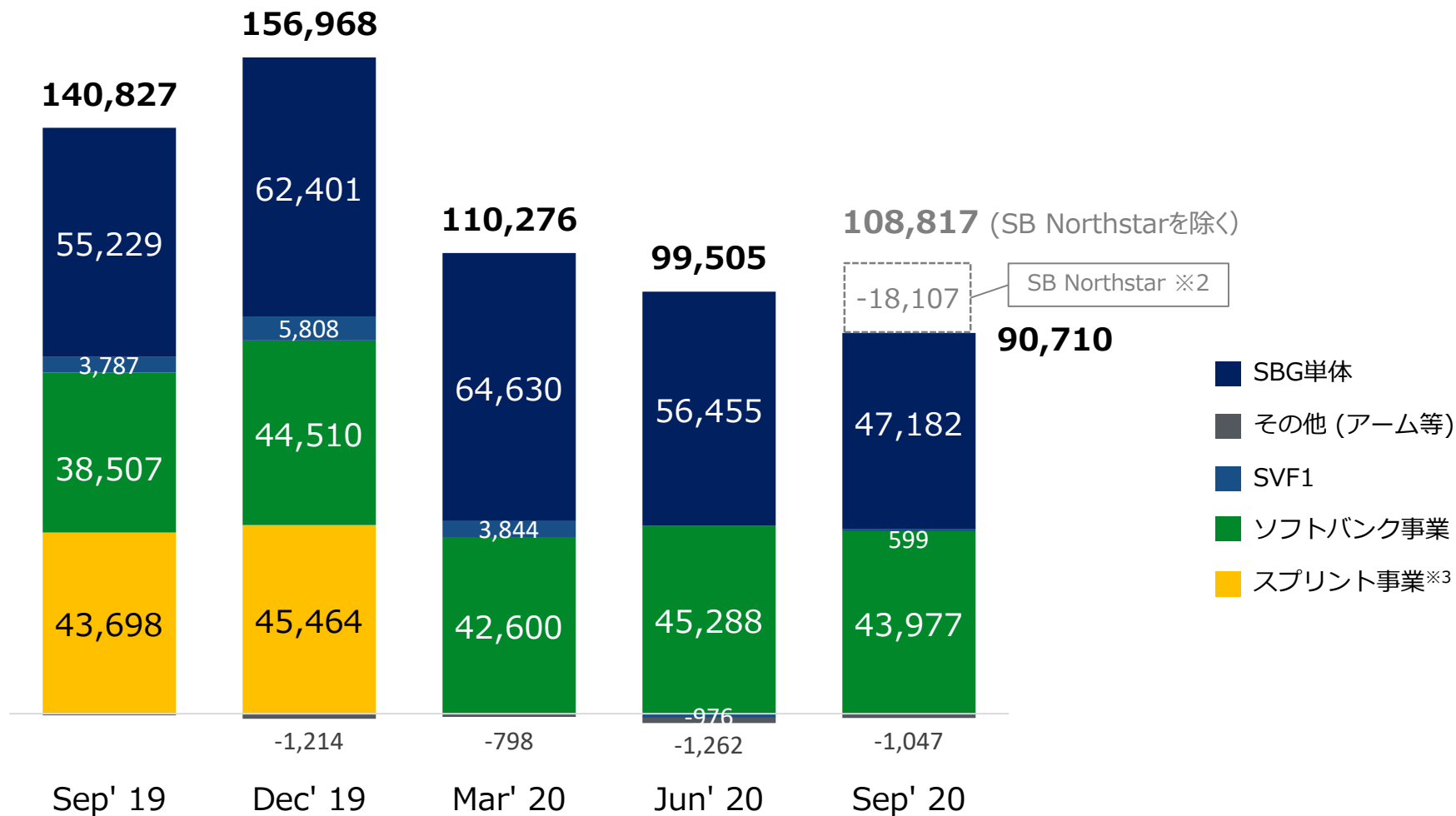
※2 SB Northstarの手元流動性 (21,750億円) はSBG単体に含む

※3 2020年3月期からスプリント事業が非継続事業に分類されたことに伴い、スプリント事業の手元流動性は連結手元流動性に含まれない

連結純有利子負債 ※1

(億円)

有利子負債+リース負債
- 手元流動性



※1 ジャパンネット銀行の(銀行業の預金-手元流動性)は含まない。マイナス表記はネットキャッシュ。2019年6月期からIFRS16適用に伴い従前オペレーティング・リースに分類されていたリース取引を「リース負債」として従前のリース債務と合算して計上

※2 SB Northstarのネットキャッシュ (18,107億円) はSBG単体に計上

※3 2020年3月期からスプリント事業が非継続事業に分類されたことに伴い、スプリント事業の純有利子負債は連結純有利子負債に含まれない

